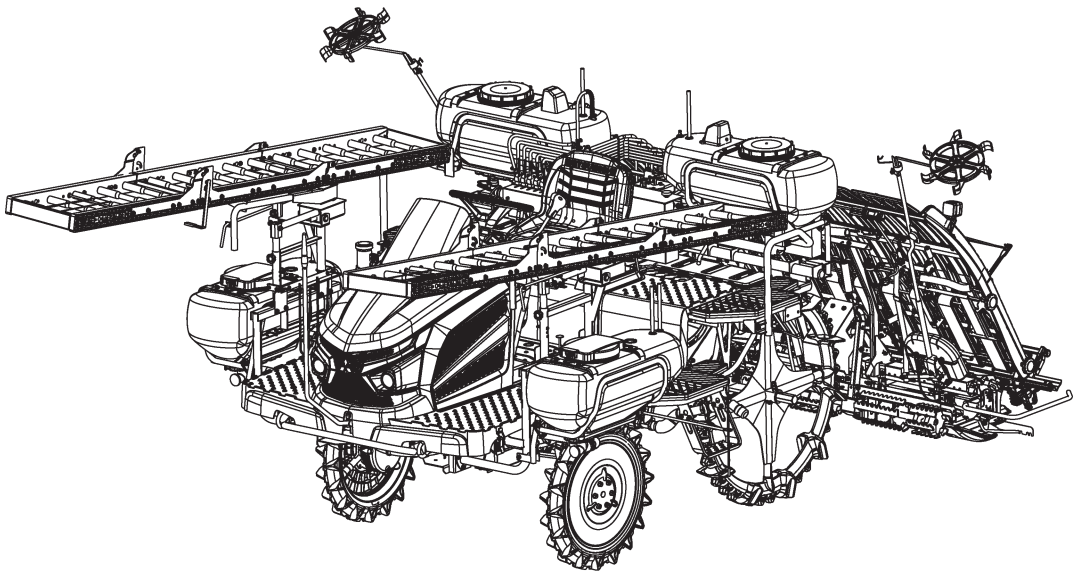
ペースト施肥機

取扱説明書

PST-PS6・PS8



ご使用前に必ずお読みください
身近なところに大切に保管してください

このたびはペースト施肥機をお買いあげいただきありがとうございます。

●はじめに

この取扱説明書は機械の正しい取扱いかたと簡単なお手入れ，および守っていただきたい安全に関する事項について説明しています。

ご使用まえにこの取扱説明書をよくお読みいただき安全で快適な作業をしてください。

・お読みになった後も身近な所に保管しいつでも読めるようにしてください。
・また，この機械を貸与または譲渡される場合は，この取扱説明書を機械といっしょにお渡しください。
・本書では，安全上重要な事項を⚠で示し，つぎのように表示しています。必ず守ってください。

⚠危険	その警告に従わなかった場合は，死亡または重傷を負うことになるものを示します。
⚠警告	その警告に従わなかった場合は，死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
⚠注意	その警告に従わなかった場合は，ケガを負うおそれのあるものを示します。

・なお，この機械の品質・性能向上あるいは安全のために，使用部品を変更することがあります。その際には本書の内容およびイラストなどの一部が，機械と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ねがいます。

●機械の使用目的について

・機械は田植機に装着して施肥作業に使用してください。
（ペーストタンクの中に肥料や水が入っていないときはポンプを回さないでください。）
・施肥作業以外には使用しないでください。
・機械を使用目的以外の作業に使用したり，改造したりした場合は保証の対象になりません。（詳細は田植機の保証書をご覧ください。）

こんなとき，こんなことが知りたいとき，ここを見てください！

安全作業のために　安全な作業をするための注意事項は？

機械の安全な取扱いに関する基本事項，また機械に貼り付けてある安全に関する表示ラベル（危険ラベル・警告ラベル・注意ラベル）について説明してあります。ご使用になる前によく読んで理解し必ず守ってください。

また，肥料などの取扱い上の注意事項を説明してありますので，必ず守ってください。

ご使用まえに　使用前に知っておかなければならないことは？

機械の概要「仕様（装備）」などについて説明しています。

各部のはたらき　各操作レバーのはたらきを知るには？

各操作レバーのはたらきを説明しています。よく理解し正しい操作をしてください。

作業のしかた　上手な施肥作業をするには？

施肥作業の基本操作を説明しています。肥料条件やほ場条件にあった機械の調整をして，安全な施肥作業をしてください。

手入れのしかた　機械を長もちさせるには？

機械をいつも正常な状態に保つために，掃除・点検・格納のしかたについて説明しています。

不調時の処置　故障かなと思ったときは？

作業中のトラブルや不調，性能が低下している？と思ったらすぐに原因を調べて処置してください。

付　　表　諸元・関連部品は？

機械に係る諸元表・消耗部品などを一覧表で説明し，また，取扱説明書にでてくる専門用語を解説しています。

もくじ

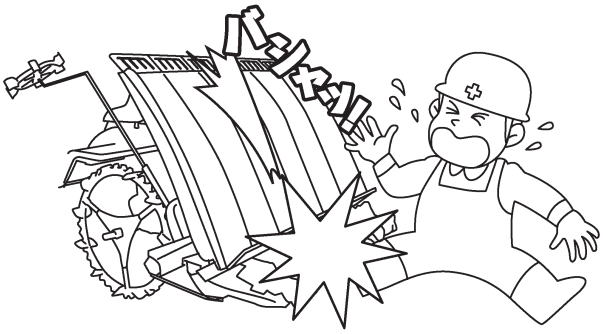
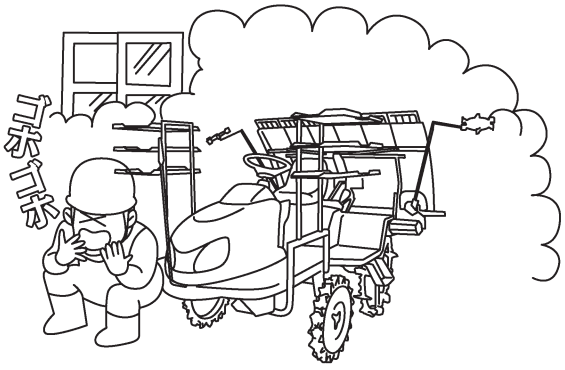
安全作業のために ……1
1．安全作業のしかた…… 1
2．肥料など取扱い上の注意…… 2
作業上の注意 ……2
ご使用まえに ……3
1．保証とサービスについて…… 3
2．仕様（装備）について…… 4
3．用語について…… 4
各部のはたらき ……5
1．各部の名称とはたらき…… 5
2．運転装置の取扱い…… 6
1．スイッチ・計器関係…… 6
2．操作レバー関係…… 8
3．その他装置関係…… 9
作業のしかた ……11
1．作業まえの準備……11
1．ほ場の準備……11
2．ペースト肥料の準備……11
3．機械の準備（調節）……12
4．施肥量の決めかた（目安表）……14
5．肥料の入れかた……16
2．施肥作業のしかた……18
1．ペースト施肥機の運転……18
2．条止めのしかた……19
3．移動走行……20
4．施肥詰まり確認のしかた……20
手入れのしかた ……21
1．掃除のしかた……21
1．作業後の掃除……21
2．シーズン後の掃除……23
2．格納のしかた……23
3．点検……24
1．ノズル深さの点検……24
不調時の処置 ……25
付表 ……27
1．主要諸元……27

安全作業のために

1．安全作業のしかた

・安全上の重要な事項を ⚠危険 ⚠警告 ⚠注意 の３段階に分類して説明していますので，よく読んで理解し安全作業に努めてください。

・なお，この項で説明している安全説明は**ペースト施肥機**についてのものです。合わせて田植機の取扱説明書「**安全作業のために**」をお読みください。これ以外にも本文の中で同様に説明していますので必ず守ってください。

必ず守ってください	守らないとこんな事故が！
⚠警告 ◆ノズル深さを調節するときは，エンジンを停止し，油圧固定レバーを《固定》にして，植付爪が停止してから，ノズル深さ調節レバーを操作してください。	植付爪が一時的に動き出し，傷害事故を引起こすことがあります。  T055
⚠警告 ◆肥料はほ場に入ってから供給してください。 ●タンクに満載したまま傾斜地を下りますと，バランスを崩します。	バランスが崩れて，転倒事故を起こすことがあります。  T061
⚠警告 ◆使用する肥料などはその説明書に従って取扱ってください。 ●薬剤を混和して使用する場合は，薬剤の使用方法および使用上の注意をよく読んでから行ってください。 ◆肥料の保管は，小児の手のとどかない所で容器のふたを固くしめて保管してください。 ◆肥料が顔・手足・衣服などに付着したときは，すぐに水で洗い流してください。	健康を害するおそれがあります。  T059

2．肥料など取扱い上の注意

1．小児がイタズラしないように肥料の保管時は小児の手のとどかない所で容器のふたを固くしめて保管してください。
2．肥料が眼に入ったときはすぐに洗眼して，医師の手当を受けてください。
3．肥料が顔・手足・衣服などに付着したときはすぐに水で洗い流してください。

作業上の注意

肥料トラブルを起こさないために守ってください。

1．指定のペースト肥料以外の肥料は使用しないでください。指定外のペースト肥料を使用された場合のトラブルについては保証いたしません。
2．指定の薬剤以外の薬剤とペースト肥料の混和は行わないでください。指定以外の薬剤とペースト肥料の混和によるトラブルについては保証いたしません。
また，指定の薬剤（パダン水溶剤・パダンＳＧ水溶剤）を混和して使用する場合は，薬剤の使用法および使用上の注意をよく読んでから行ってください。
3．ペースト肥料（標準ペースト）のもみほぐしが不十分だと肥料が流れないことがあります。タンク内のコシ網を使用し，肥料がスムーズにコシ網を流れるように十分もみほぐしてください。
4．ペースト肥料に異常なかたまりなどがあるときは，ペースト肥料の**「お買いあげ先」**にご相談ください。
5．強還元土壌への施肥については，施肥量，施肥位置を**「お買いあげ先」**へご相談ください。
6．詳しい施肥計画については，地域の指導機関の指導をうけ，地域に適した正しい施肥を行ってください。

施肥ムラを発生させないために守ってください。

1．発進するときは低速より徐々に速度を上げてください。少し早め（２～３株）に植付けを始めるよう心がけてください。急発進すると肥料遅れが発生することがあります。
2．各行程の植え終わりでは，徐々に速度を落として旋回してください。急停止すると，停止部分が多肥になることがあります。
3．苗つぎや肥料の補給は，なるべく，枕地で行い，植付けの途中で機械を止めて行わないでください。停止部分が多肥になることがあります。

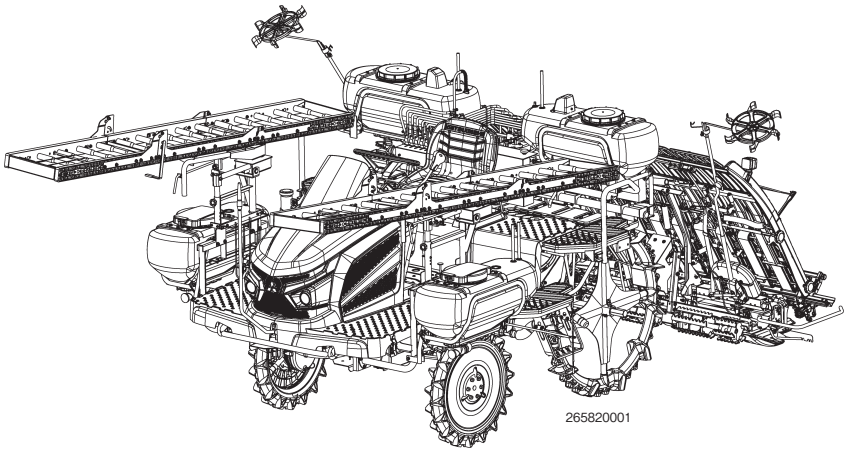
ペーストポンプの吐出不良を発生させないために守ってください。

1．ペーストタンクの中に肥料や水が入っていないときは，ポンプを回さないでください。ポンプが焼き付くことがあります。
2．ペーストを入れずに植付けをするときは，施肥機の施肥量調節レバーの副変速を「N」位置にしてください。

ご使用まえに

1．保証とサービスについて

・この機械の保証は田植機の保証書で保証いたします。ご使用まえによくお読みください。
・この機械のサービスについてのお問い合わせや部品などのご用命のときは「**お買いあげ先**」にご相談ください。その際「**田植機型式番号**」をお知らせください。



・補修用部品の供給年限について

・この製品（機械）の補修用部品の供給年限（期間）は，製造打ち切り後11年といたします。
※供給年限内でも特別な事情により供給できない部品も一部ございます。詳しくは三菱農業機械取扱店までお問い合わせください。

・補修用部品の供給は，原則的には，上記の供給年限で終了いたしますが，供給年限経過後であっても，部品供給のご要請があった場合には，納期および価格についてご相談させていただきます。

・機械の使用目的について

・機械は田植機に装着して施肥作業に使用してください。
・機械を使用目的以外の作業に使用したり，改造したりした場合は保証の対象となりませんのでご注意ください。

⚠警告 傷害事故防止のために

◆機械を改造しないでください。改造すると本来の機能を発揮できないばかりか，人身事故の原因になることがあります。

2. 仕様（装備）について

機械の主な仕様（装備）はつぎの表のようになっています。

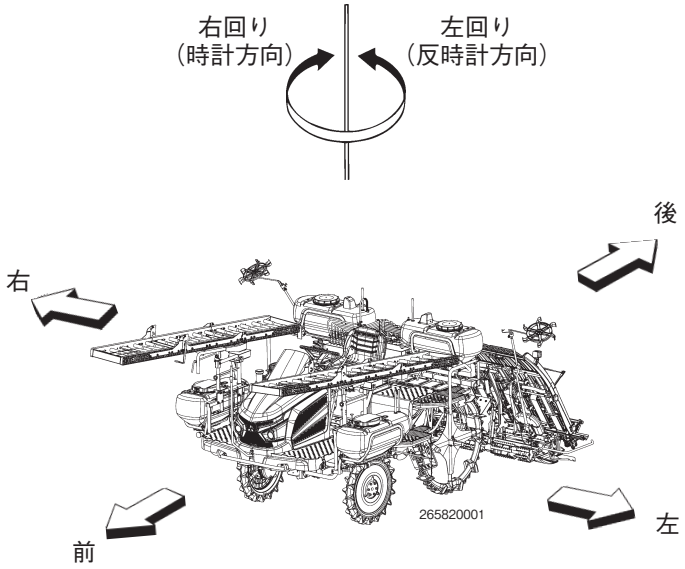
お買いあげの機械の仕様（装備）をお確かめのうえ，お間違いのないようにしてください。

型 式 名	条　数	適用田植機
PST－PS6	6 条	6 条型
PST－PS8	8 条	8 条型

（詳細な仕様は26ページの「**主要諸元表**」を参照ください。）

3. 用語について

⑴　この取扱説明書に使用している「**前後・左右・右回り・左回り**」などの用語は図示のとおりです。



⑵　**マークの説明**

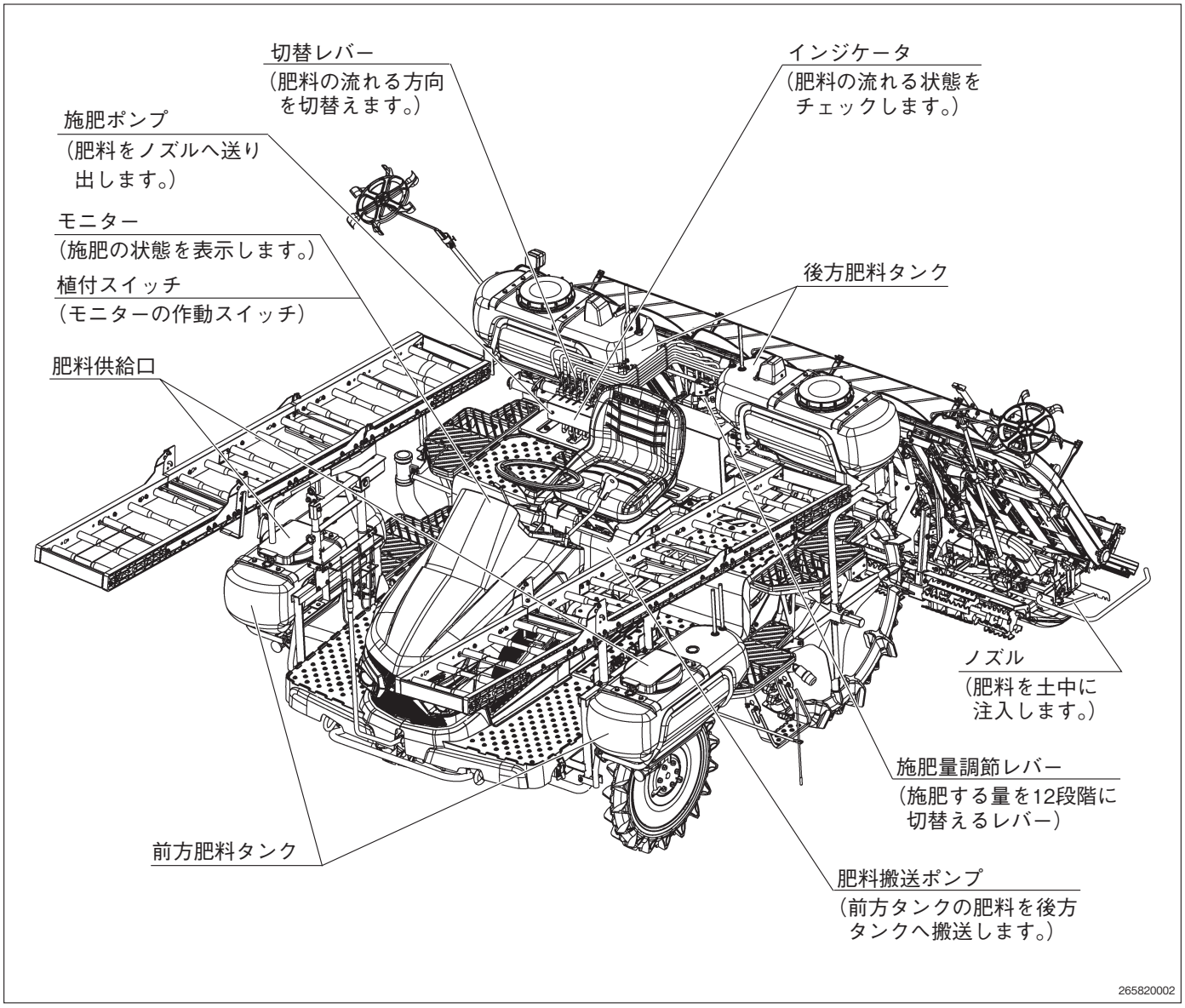
この取扱説明書ではその都度守っていただきたい事柄をつぎのマークを使用して説明しています。

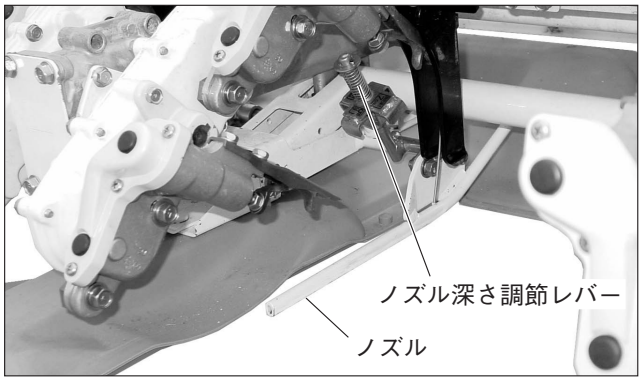
・ ⚠危険 ⚠警告 ⚠注意 ……安全上重要な事項を３段階に分けて説明していますので必ず読んでください。

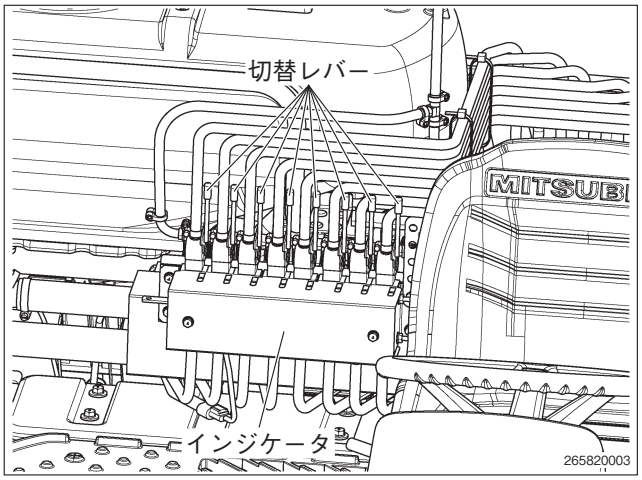
・ **取扱いのポイント** ……機械の機能・性能上に関する説明です。守らないと故障の原因になることがあります。

各部のはたらき

1．各部の名称とはたらき

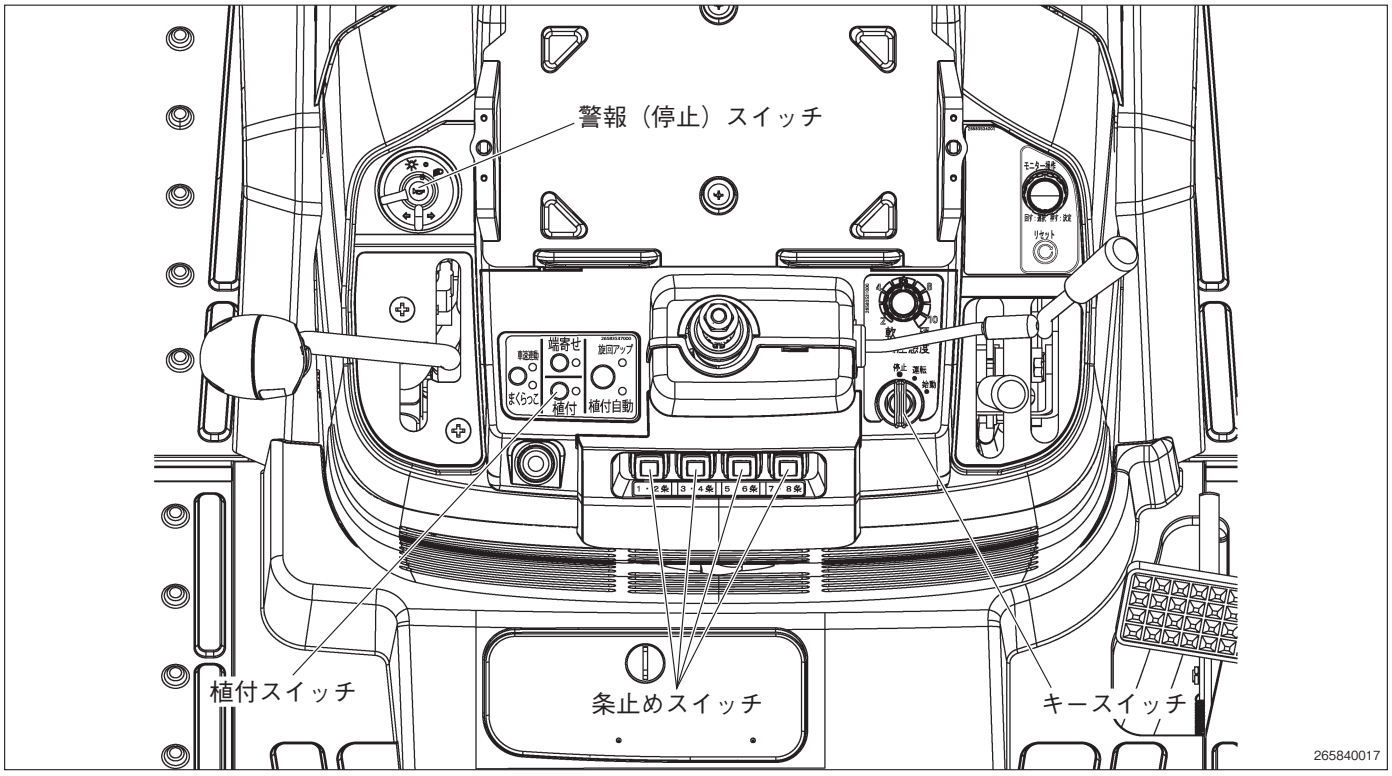






2. 運転装置の取扱い

1. スイッチ・計器関係



❶ 植付スイッチ

⚠警告 傷害事故防止のために

◆走行運転するときは植付スイッチを《切》にしてください。

・各モニターおよび装置を《**入**》「**作動状態**」および《**切**》「**停止状態**」に切替えるスイッチです。



植付スイッチを押すたびに《**入**》「**作動状態**」⟷《**切**》「**停止状態**」が切替わります。

《**入**》「**作動状態**」のときは植付スイッチランプが点灯します。

取扱いのポイント

- **作業中は，植付スイッチを《入》にしておかないと植付作業ができません。**
- **植付け作業時以外は，植付スイッチを《切》にしてください。**

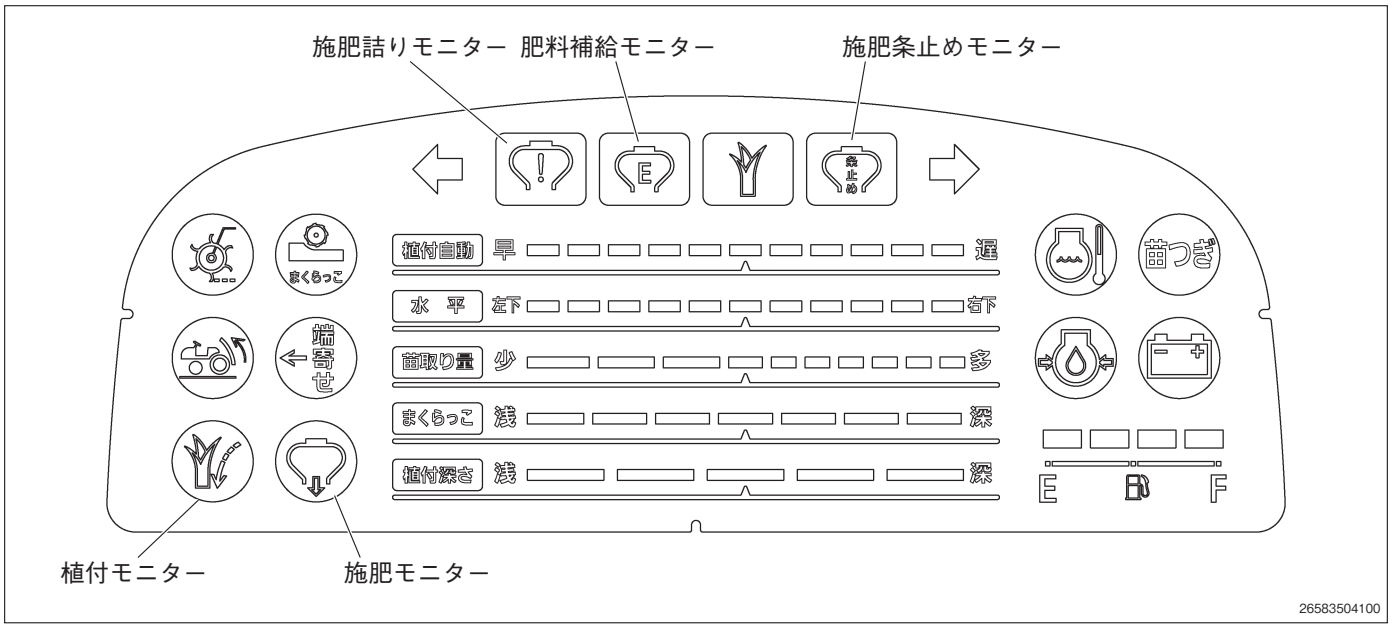
❷ 警報（停止）スイッチ

スタータスイッチを《**運転**》位置にして，警報スイッチを押すと警報ブザーが鳴ります。

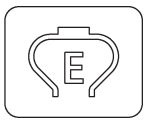
取扱いのポイント

- **警報ブザーはエンジンを始動するときや発進するときおよび機械周辺の人への合図に使用します。**
- **警報ブザーが鳴っているとき，警報（停止）スイッチを押せばブザーが停止しますが，モニターのランプは消灯しません。**
- **警報ブザーを警報（停止）スイッチで停止させた後，苗や肥料の補給がなかった場合には，植付部の下降時に警報ブザーで再警告します。（再警報機能）**
- **肥料詰まり警報のブザーは警報（停止）スイッチを押しても停止しません。**

❸ モニターパネル



(1) 肥料補給モニター



265820023

・残量が少なくなるとモニターランプが「**点灯**」し警報ブザーが鳴ります。

(2) 施肥条止めモニター



265820025

・条止めスイッチを「**入**」(**ランプ点灯**）にすると，植付けと施肥が同時に停止し，モニターランプが「**点灯**」します。条止め作業後，植付部を上昇させると条止めスイッチが「**切**」(**ランプ消灯**）になります。
また，施肥切替レバーを「**施肥停止**」にし，一部の条の施肥を止めているときにモニターランプが「**点灯**」します。植付作業後，施肥切替レバーを「**施肥停止**」のまま植付部を昇降すると警報ブザーが鳴ります。

(3) 施肥詰りモニター



265820024

・施肥作業中に肥料が詰まるとモニターランプが「**点灯**」し，警報ブザーが鳴ります。
・ほぼ同時に植付クラッチが「**切**」になります。

(4) 施肥モニター


265820026

・施肥装置（ポンプ）が駆動しているときに「**点灯**」します。

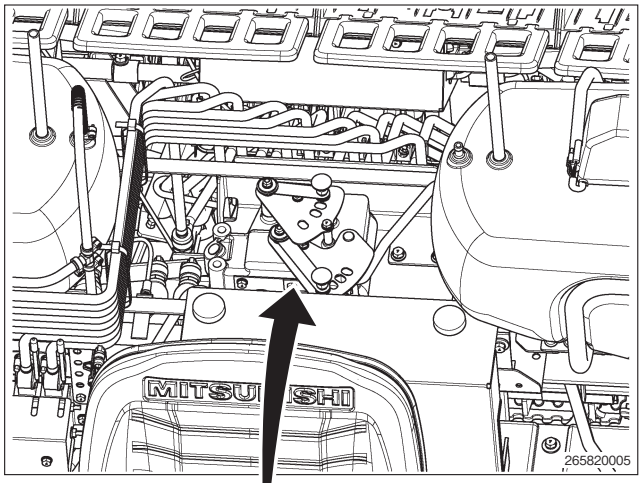
(5) 植付モニター

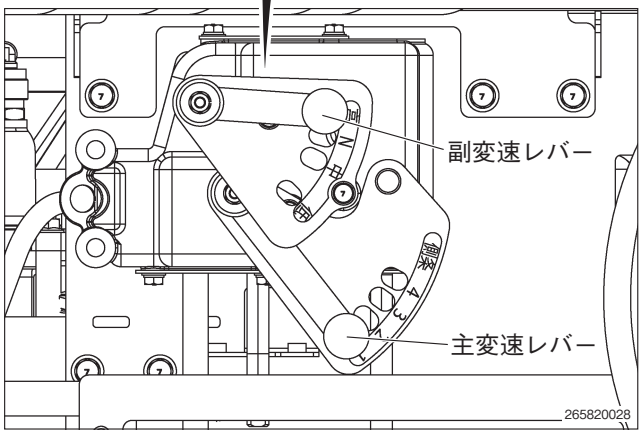

265820027

・植付クラッチが《**入**》の状態のときモニターランプが「**点灯**」します。

2. 操作レバー関係

❶ 施肥量調節レバー

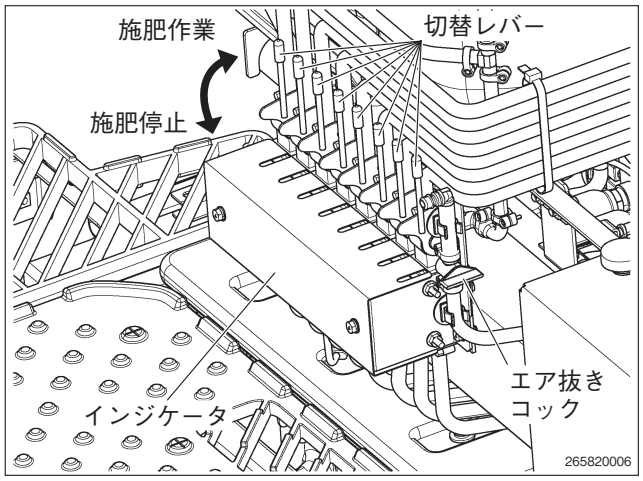




ノズルから吐出する肥料の量を調節するレバーで**「主変速４段，副変速３段の計12段」**の施肥量調節ができます。

・**「副変速レバー」**には《N》**(中立)** 位置があり，田植作業のみ（ペースト施肥作業停止）の場合に使用します。

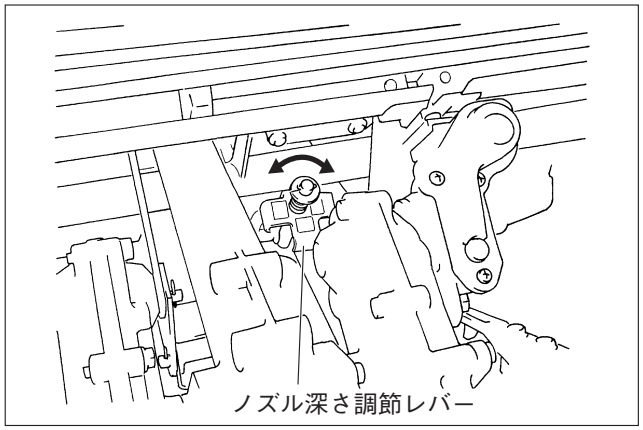
❷ インジケータ（切替レバー）



・切替レバーは各条にあり，**「施肥作業」・「施肥停止」**に切替えて使用します。

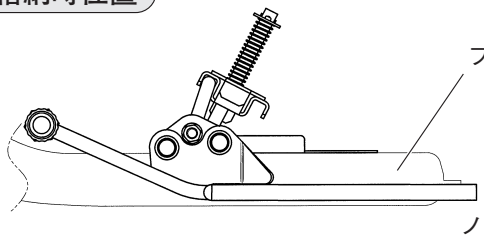
・最初に肥料を供給するときはエア抜きコックを開側にセットし，供給後は閉側に戻します。

❸ ノズル深さ調節レバー

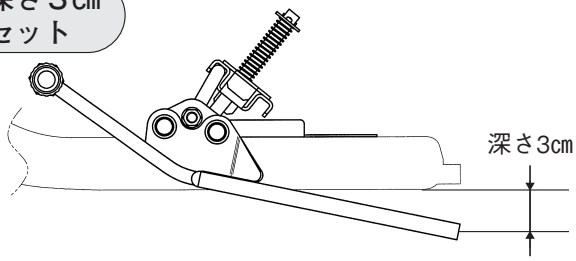


ノズル深さ調節レバーを引上げて回動させることにより，施肥深さを**「３㎝・５㎝・７㎝」**の３段と**「格納」**位置にセットできます。

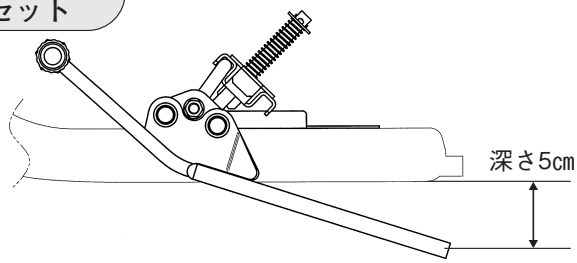
格納時位置



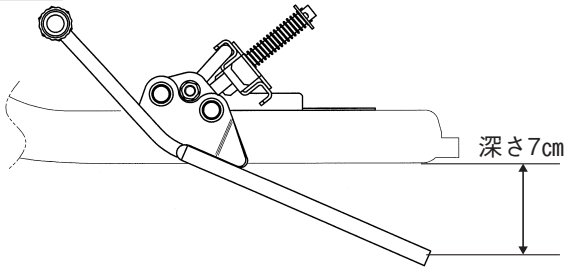
深さ3㎝セット



深さ5㎝セット

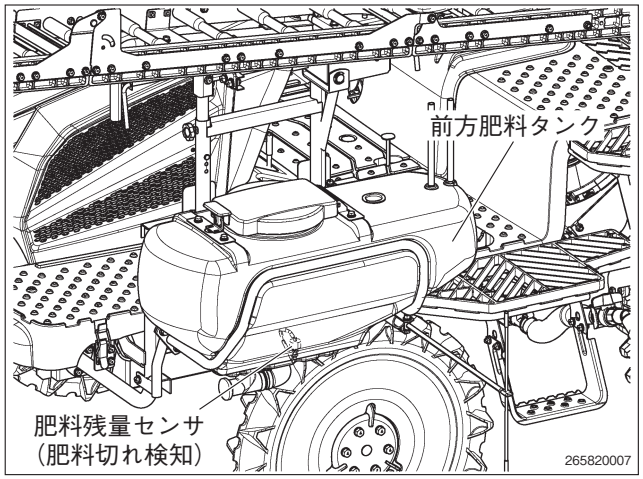


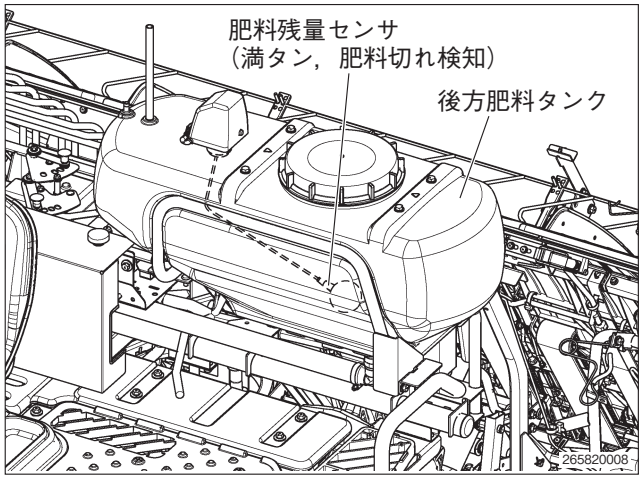
深さ7㎝セット



3. その他装置関係

❶ 肥料タンク





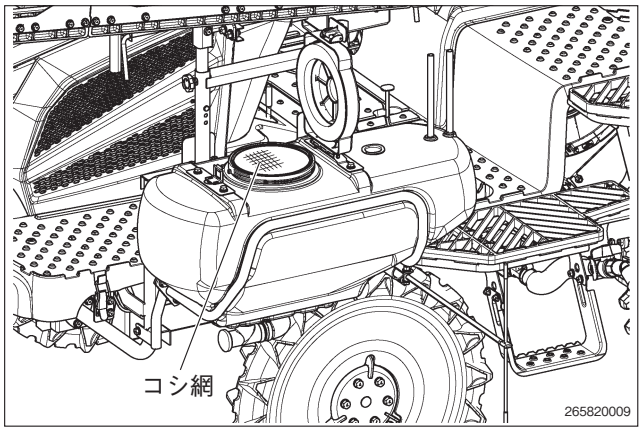
・前方肥料タンクは左右（50L × 2）にあり，左側タンクに**「肥料残量センサ」**を装備しています。

・後方肥料タンクは左右（40L × 2）にあり，両側タンクに**「肥料残量センサ」**を装備しています。

・**「肥料警報」**

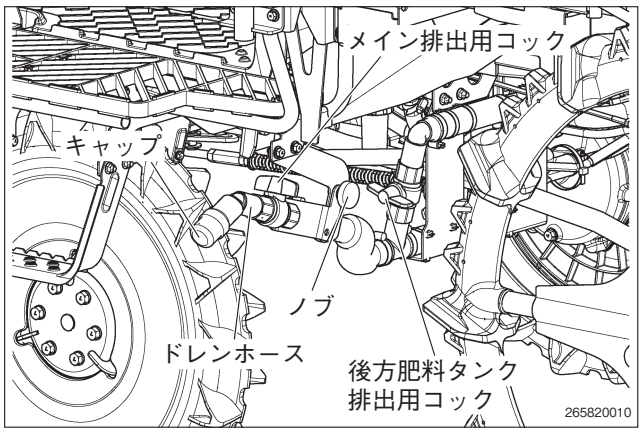
……後方肥料タンク内の肥料の残量が少なくなると，警報ブザーが鳴り肥料補給モニターが点灯します。

❷　肥料供給口

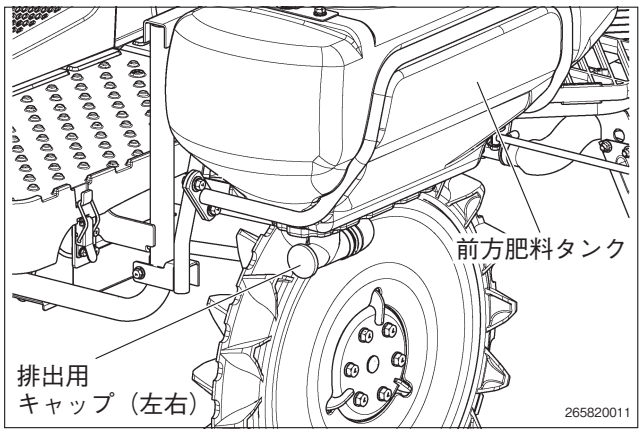


・タンク上面に肥料供給口があり，取手を引上げて蓋を開けてコシ網を通してペースト肥料を供給します。

❸　ドレンホース



・ノブをゆるめてドレンホースのフック部より外し，キャップを取外してメイン排出用コックを開き，前方肥料タンク内の肥料を排出することができます。
・後方肥料タンク排出用コックを開くと後方肥料タンクとドレンホースがつながり，後方肥料タンク内の肥料を排出することができます。



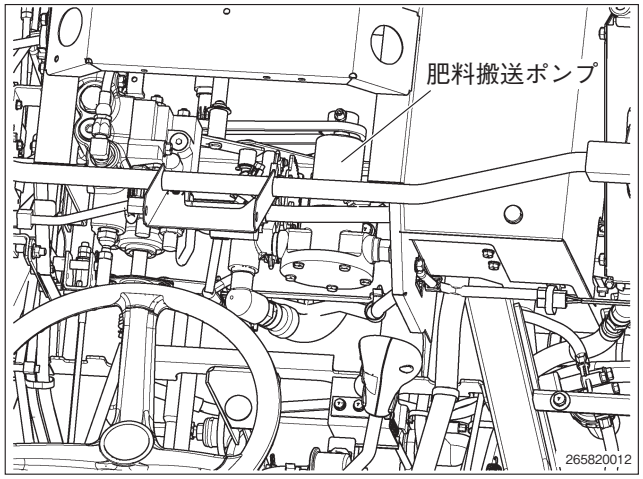
・タンク下前方の排出キャップを取外し，前方肥料タンク内の肥料を排出することもできます。

取扱いのポイント

●肥料排出する際は後方肥料タンク排出用コックを閉じた状態で先に前方肥料タンク内の肥料を排出してください。前方肥料タンクに肥料が入っている状態で後方肥料タンク排出用コックを開くと前方肥料タンクから肥料があふれ出るおそれがあります。

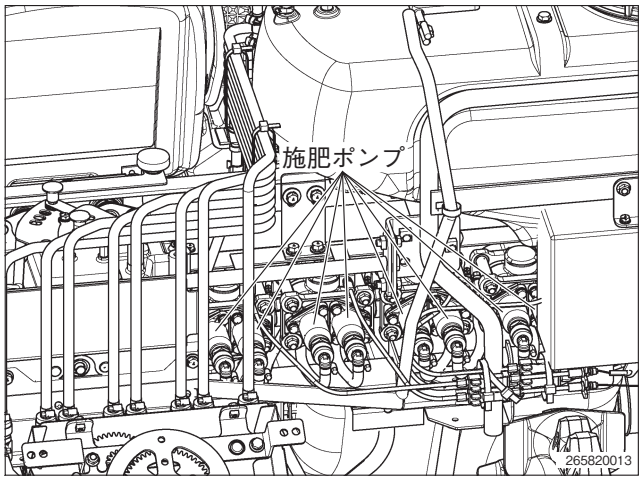
❹　肥料搬送ポンプ

「シート真下」



・前方肥料タンクの肥料を後方肥料タンクに搬送します。

❺　施肥ポンプ



・各条に施肥ポンプを装備し，施肥ポンプは施肥量調節レバーのセット位置に応じて一定量のペースト肥料を吐出します。

作業のしかた

1．作業まえの準備

1．ほ場の準備

通常の乗用田植機で田植作業する場合とほ場条件は変わりません。特に，つぎの点に注意してください。

・稲株や切ワラは前もって取除くか，土中に充分スキ込んでください。ノズルに引っかかり植付けに悪影響を与えることがあります。
・長いままの切ワラはノズルに引っかかり溝が掘られることがありますので「**切ワラは５㎝以下**」にします。

2．ペースト肥料の準備

⚠警告　傷害事故防止のために

◆肥料が眼に入ったときは，すぐに洗眼して，医師の手当を受けてください。
◆肥料が顔・手足・衣服などに付着したときはすぐに水で洗い流してください。

❶　ペースト肥料は１袋20kgがダンボール箱入りで販売されています。

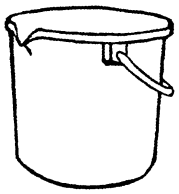
❷　施肥計画に基づき，ほ場の面積と必要施肥量を計算します。（14～15ページ参照）

必要施肥量に無効肥料量約６kgを加味してやや多めに準備します。（無効肥料量とは前方施肥タンクに入れても施肥に使用できない肥料）

❸　長く放置していたペースト肥料はうわずみができることがあります。そのときは袋をころがすようにして良く撹拌します。

❹　ペースト肥料の内容器は樹脂フィルム製で固定しにくく不安定ですので，右図のようなバケツに一度移し替えてから，施肥機のタンクに注入すると，ほ場での作業でも安全，かつスムーズに行えます。

《バケツ》



パルケットバケツ
（E546 0430）

❺　ペースト補給機を使用するとより便利です。（ペースト補給機の取扱説明書をお読みください。）



PC22

取扱いのポイント

- **指定ペースト肥料以外の肥料を使用された場合のトラブルについては保証いたしません。**
- **施肥計画（施肥成分・量・位置・時期など）について詳しくは地域の指導機関にご相談ください。**
- **もみほぐしが不十分だと肥料が流れないことがあります。タンク内のコシ網を使用し，そのコシ網を肥料がスムーズに流れるように十分もみほぐしてください。**
- **ペースト肥料に異常なかたまりなどがあるときは，ペースト肥料の「お買いあげ先」にご相談ください。**
- **別売でペースト肥料の供給および撹拌を高能率で行うことができる，ペースト補給機がありますので「お買いあげ先」にご相談ください。**
- **肥料補給時に機械にペースト肥料がこぼれたときは早めに水で洗い流してください。**
  時間がたつとペースト肥料が固まり落ちにくくなります。
- **ペースト肥料は，その性質上，長く保存すると結晶を生成することがありますので，長期保存した肥料は使用しないでください。**
- **ペースト肥料が少し足りないときは，排出コックからペースト肥料を取出し，後方施肥タンクに直接入れることで無効肥料量を使用することができます。**

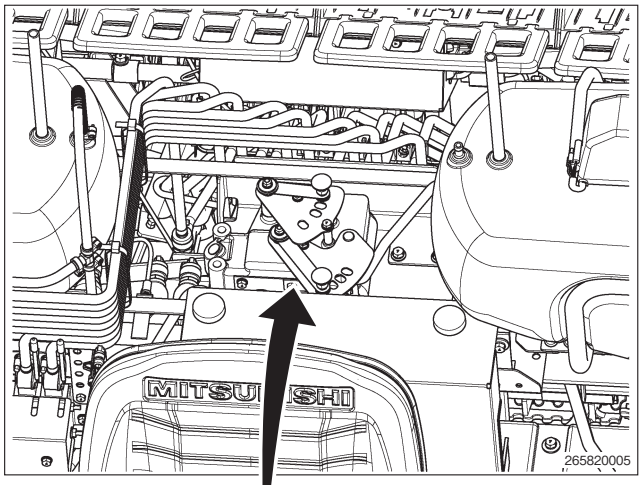
●「ペーストポンプ空運転厳禁」

⑴ 後方肥料タンクの中に肥料や水が入っていないときはポンプを回さないでください。ポンプが焼き付くことがあります。

⑵ ペースト肥料を入れずに田植作業をするときは，施肥機の施肥量調節レバーの副変速レバーを《N》(中立）位置にしてください。

3．機械の準備（調節）

❶ 施肥量調節



・実際の施肥量は，ペースト肥料やほ場の条件により多少変わります。

・ペースト肥料が硬いと実際の施肥量が少なくなり，極端に軟らかいと施肥量が多くなります。

・深いほ場では田植機のスリップが多く植付け株間が狭くなるので，その分だけ多く肥料が必要です。

⑴ 「施肥計画」(14ページ参照）が決まったら，「側条施肥量目安表」を参考に施肥量調節レバー（主変速レバー，副変速レバー）をセットします。

⑵ スプロケット交換のしかた

出荷時のスプロケットは標準セットにセットしてあります。増量セットへの変更は下記手順で行ってください。

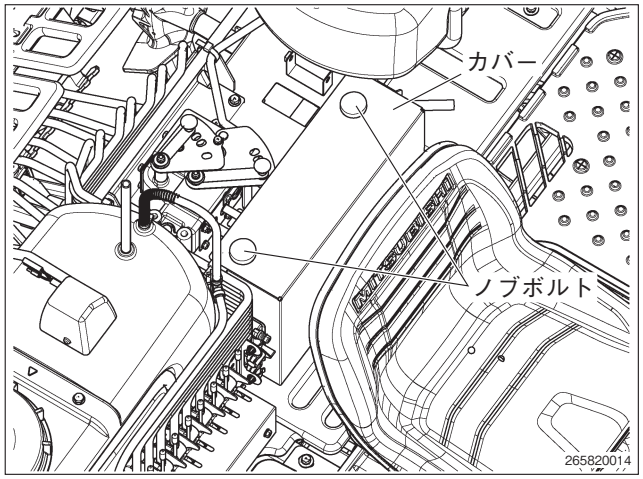
・副変速レバーを《N》位置にセットします。

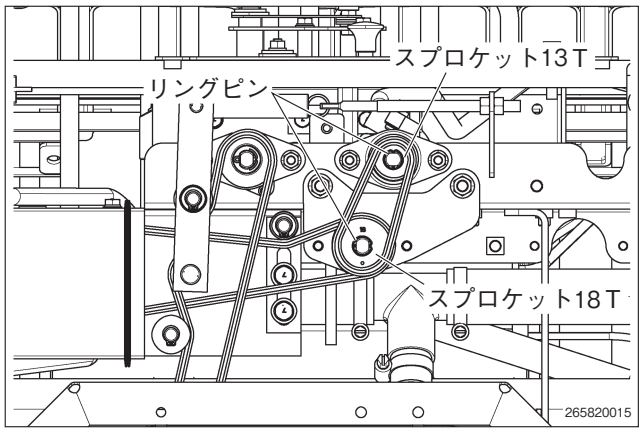
・ノブボルトをゆるめ，カバーを外します。

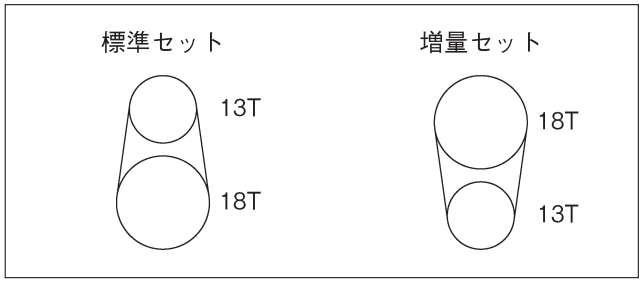
・リングピンを外し，13T，18Tのスプロケットを入替えます。

・リングピンを付けます。

・カバーを取付け，ノブボルトで固定します。







取扱いのポイント

●施肥量調節レバー（主変速レバー，副変速レバー）が入りにくい場合は無理に操作せず，下記要領で操作してください。

⑴ 下記状態で植付操作を行います。

・油圧固定レバー：「固定」

・副変速レバー：《N》(中立)

・エンジンコントロールレバー：「低速」

・条止めスイッチ：「入」(全条)

⑵ 変速機の入力軸をゆっくり回転させて，施肥量調節レバーが軽く動くところで変速操作を行います。

●スプロケットはボス部が内側になるようにセットします。

❷ ノズル深さ調節

⚠警告 傷害事故防止のために

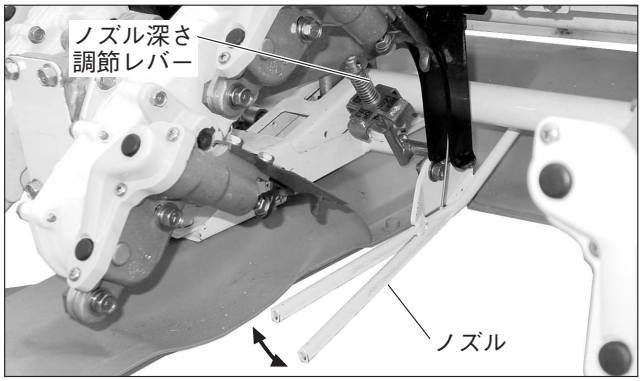
◆ノズル深さを調節するときは，エンジンを停止し，油圧固定レバーを《油圧固定》位置にしてから行ってください。

・ノズルの施肥深さはノズル深さ調節レバーで調節します。

《深さ３㎝》…寒冷地および高冷地の初期成育を重視する地域。

《深さ５㎝》…上記以外の地域。

《深さ７㎝》…肥効の発生はやや遅いが，肥効を長く効かせる。

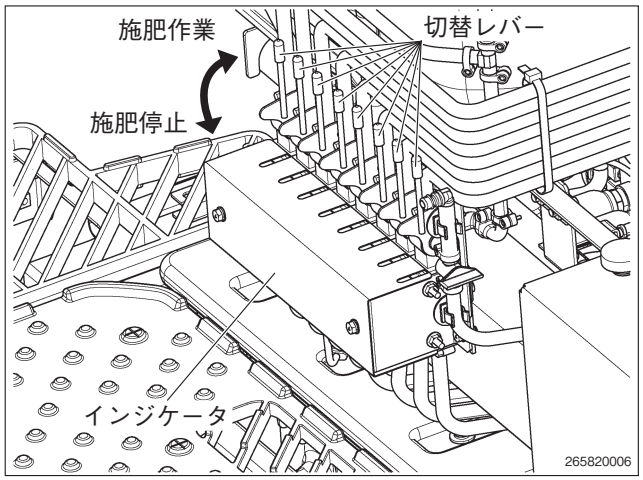


取扱いのポイント

●ノズルを出した状態で植付部を上げずに旋回しないでください。ノズルが変形することがあります。

❸ 切替レバー

インジケータの全ての切替レバーを《施肥作業》位置にします。



4．施肥量の決めかた（目安表）

❶ 減肥基準

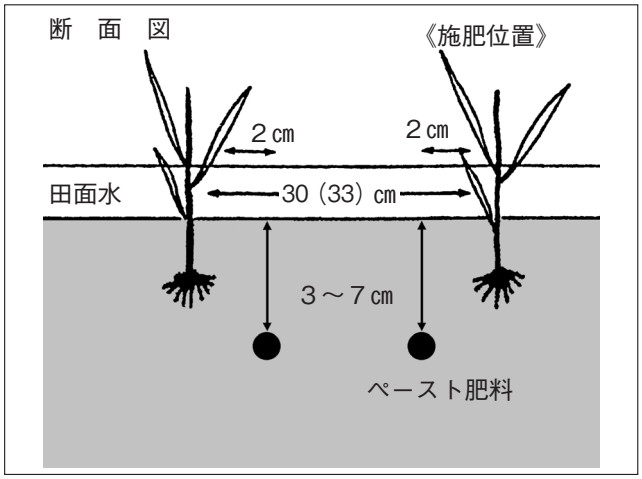
ペースト施肥機は局所施肥を行うため肥料の吸収効率が高く，慣行の元肥量（中間施肥含む）に比較して**「20～30%の減肥」**ができます。

慣行窒素成分施肥量	ペースト肥料標準減肥率
6 kg／10 a 未満の場合は	約20％減肥
6 kg／10 a 以上の場合は	約30％減肥

❷ 施肥量の計算と施肥量調節レバーの位置

⑴ 慣行での窒素成分量５kg／10 a の場合，慣行の80％として

５kg／10 a ×0.8＝４kg／10 a



⑵ N・P・K＝12－12－12の肥料の場合，窒素成分量４kg／10 a を施肥する量は，

４kg／10 a ÷0.12＝33.3kg／10 a

⑶ 標準仕様の田植機において植付条件が条間30 cm，株間17cm（密植セット），標準ペースト（12－12－12）を使用する場合，側条施肥量目安表（15Ａページ参照）から，スプロケット標準セット，副変速**「高」**，主変速**「２」**を選択します。

取扱いのポイント

- **ご使用の田植機の仕様と使用する植付株間を確認のうえ，使用するペースト肥料の肥料成分から「施肥量目安表」より施肥量調節レバーの主変速レバー，副変速レバーの位置を決めてください。**
- **肥料成分10－16－12を使用する場合の窒素成分施肥量は標準ペースト施肥量の（　）内のペースト肥料施肥量の10%となります。**

［標準仕様］

側条施肥量目安表

	副変速	主変速	窒素成分施肥量（ペースト施肥量）kg/10a											
			標準ペースト（12-12-12）						MAM５号/SR502（15-10-12）					
標準セット 13T 18T	低	1	2.3（19）	2.1（18）	1.9（16）	1.5（13）	1.4（12）	1.3（11）	2.7（18）	2.5（17）	2.2（15）	1.8（12）	1.7（11）	1.5（10）
		2	2.5（21）	2.3（19）	2.0（17）	1.7（14）	1.5（13）	1.4（12）	3.0（20）	2.7（18）	2.5（16）	2.0（13）	1.9（13）	1.7（11）
		3	2.8（23）	2.6（22）	2.3（19）	1.9（16）	1.7（14）	1.6（13）	3.4（23）	3.1（21）	2.8（19）	2.3（15）	2.1（14）	1.9（13）
		4	3.2（27）	2.9（24）	2.6（22）	2.2（18）	2.0（17）	1.8（15）	3.8（25）	3.5（23）	3.2（21）	2.6（17）	2.4（16）	2.2（14）
	中	1	3.5（29）	3.2（27）	2.9（24）	2.4（20）	2.1（18）	1.9（16）	4.2（28）	3.8（25）	3.4（23）	2.8（19）	2.6（17）	2.3（16）
		2	3.8（32）	3.5（29）	3.1（26）	2.6（22）	2.4（20）	2.1（18）	4.6（31）	4.2（28）	3.8（25）	3.1（21）	2.9（19）	2.6（17）
		3	4.3（36）	3.9（33）	3.6（30）	2.9（24）	2.7（23）	2.4（20）	5.2（35）	4.7（31）	4.3（29）	3.5（23）	3.2（21）	2.9（19）
		4	4.9（41）	4.5（38）	4.1（34）	3.3（28）	3.0（25）	2.8（23）	6.0（40）	5.4（36）	4.9（33）	4.0（27）	3.7（25）	3.3（22）
	高	1	5.4（45）	4.9（41）	4.4（37）	3.6（30）	3.3（28）	3.0（25）	6.5（43）	5.9（39）	5.3（35）	4.4（29）	4.0（27）	3.6（24）
		2	5.9（49）	5.4（45）	4.9（40）	4.0（33）	3.6（30）	3.3（27）	7.1（47）	6.5（43）	5.9（39）	4.8（32）	4.4（29）	4.0（26）
		3	6.7（56）	6.1（51）	5.5（46）	4.5（38）	4.1（34）	3.7（31）	8.1（54）	7.3（49）	6.6（44）	5.5（37）	5.0（33）	4.5（30）
		4	7.7（64）	6.9（58）	6.3（52）	5.2（43）	4.7（39）	4.2（35）	9.2（61）	8.4（56）	7.6（50）	6.2（41）	5.7（38）	5.1（34）
増量セット 18T 13T	低	1	4.2（35）	3.8（32）	3.5（29）	2.9（24）	2.6（22）	2.4（20）	5.1（34）	4.6（31）	4.2（28）	3.5（23）	3.1（21）	2.9（19）
		2	4.7（39）	4.2（35）	3.8（32）	3.2（27）	2.9（24）	2.6（22）	5.6（37）	5.1（34）	4.6（31）	3.8（25）	3.5（23）	3.1（21）
		3	5.3（44）	4.8（40）	4.4（36）	3.6（30）	3.3（28）	3.0（25）	6.4（43）	5.8（39）	5.2（35）	4.3（29）	3.9（26）	3.6（24）
		4	6.0（50）	5.5（46）	5.0（41）	4.1（34）	3.7（31）	3.4（28）	7.3（49）	6.6（44）	6.0（40）	4.9（33）	4.5（30）	4.0（27）
	中	1	6.6（55）	6.0（50）	5.4（45）	4.4（37）	4.0（33）	3.7（30）	7.9（53）	7.2（48）	6.5（43）	5.4（36）	4.9（33）	4.4（29）
		2	7.3（61）	6.6（55）	6.0（50）	4.9（41）	4.4（37）	4.0（34）	8.7（58）	7.9（53）	7.2（48）	5.9（39）	5.4（36）	4.9（32）
		3	8.2（68）	7.5（63）	6.8（56）	5.6（47）	5.0（42）	4.6（38）	9.9（66）	9.0（60）	8.1（54）	6.7（45）	6.1（41）	5.5（37）
		4		8.5（71）	7.7（64）	6.3（53）	5.7（48）	5.2（43）		10.3（69）	9.3（62）	7.6（51）	6.9（46）	6.3（42）
	高	1			8.4（70）	6.9（58）	6.2（52）	5.6（47）			10.1（67）	8.3（55）	7.5（50）	6.8（45）
		2				7.7（64）	6.9（58）	6.2（52）				9.1（61）	8.3（55）	7.5（50）
		3					7.8（65）	7.1（59）					9.4（63）	8.5（57）
		4						8.1（67）						9.7（65）
	密植		11cm	13cm	15cm	17cm	19cm	22cm	11cm	13cm	15cm	17cm	19cm	22cm
	一本爪		22cm	26cm	30cm				22cm	26cm	30cm			

●肥料成分（10-16-12）を使用する場合の、窒素成分施肥量は、標準ペースト（12-12-12）施肥量の（　）内の数値の10%となります。
●施肥量は、各種条件により多少異なることがありますので取扱説明書をよくお読みください。

【標準仕様】26530815001

［T仕様］

側条施肥量目安表

	副変速	主変速	窒素成分施肥量（ペースト施肥量）kg/10a											
			標準ペースト（12-12-12）						MAM５号/SR502（15-10-12）					
標準セット 13T 18T	低	1	2.3（19）	2.1（18）	1.9（16）	1.6（13）	1.4（12）	1.3（11）	2.8（19）	2.6（17）	2.3（15）	1.9（13）	1.7（12）	1.5（10）
		2	2.5（21）	2.3（20）	2.1（17）	1.7（15）	1.6（13）	1.4（12）	3.1（21）	2.8（19）	2.5（17）	2.1（14）	1.9（13）	1.7（11）
		3	2.9（24）	2.6（22）	2.3（19）	2.0（16）	1.8（15）	1.6（13）	3.5（23）	3.2（21）	2.8（19）	2.4（16）	2.2（14）	1.9（13）
		4	3.3（28）	3.0（25）	2.7（22）	2.2（19）	2.0（17）	1.8（15）	4.0（27）	3.6（24）	3.2（21）	2.7（18）	2.5（16）	2.2（14）
	中	1	3.6（30）	3.3（27）	2.9（24）	2.4（20）	2.2（18）	2.0（16）	4.3（29）	3.9（26）	3.5（23）	2.9（19）	2.7（18）	2.4（16）
		2	4.0（33）	3.6（30）	3.2（26）	2.7（22）	2.4（20）	2.1（18）	4.8（32）	4.4（29）	3.8（26）	3.2（21）	2.9（20）	2.6（17）
		3	4.5（37）	4.1（34）	3.6（30）	3.0（25）	2.8（23）	2.4（20）	5.4（36）	4.9（33）	4.3（29）	3.6（24）	3.3（22）	2.9（20）
		4	5.1（43）	4.7（39）	4.1（34）	3.4（29）	3.1（26）	2.8（23）	6.2（41）	5.6（37）	4.9（33）	4.1（28）	3.8（25）	3.3（22）
	高	1	5.5（46）	5.1（42）	4.4（37）	3.7（31）	3.4（28）	3.0（25）	6.7（45）	6.1（41）	5.4（36）	4.5（30）	4.1（27）	3.6（24）
		2	6.1（51）	5.6（46）	4.9（41）	4.1（34）	3.7（31）	3.3（27）	7.4（49）	6.7（45）	5.9（39）	5.0（33）	4.5（30）	4.0（26）
		3	6.9（58）	6.3（53）	5.6（46）	4.7（39）	4.2（35）	3.7（31）	8.4（56）	7.6（51）	6.7（45）	5.6（37）	5.1（34）	4.5（30）
		4	7.9（66）	7.2（60）	6.3（53）	5.3（44）	4.8（40）	4.3（35）	9.6（64）	8.7（58）	7.6（51）	6.4（43）	5.8（39）	5.1（34）
増量セット 18T 13T	低	1	4.4（37）	4.0（33）	3.5（29）	3.0（25）	2.7（22）	2.4（20）	5.3（35）	4.8（32）	4.2（28）	3.6（24）	3.2（22）	2.9（19）
		2	4.8（40）	4.4（37）	3.9（32）	3.3（27）	3.0（25）	2.6（22）	5.8（39）	5.3（35）	4.7（31）	3.9（26）	3.6（24）	3.1（21）
		3	5.5（46）	5.0（42）	4.4（37）	3.7（31）	3.4（28）	3.0（25）	6.6（44）	6.0（40）	5.3（35）	4.4（30）	4.0（27）	3.6（24）
		4	6.3（52）	5.7（47）	5.0（42）	4.2（35）	3.8（32）	3.4（28）	7.5（50）	6.9（46）	6.0（40）	5.1（34）	4.6（31）	4.1（27）
	中	1	6.8（57）	6.2（52）	5.4（45）	4.6（38）	4.2（35）	3.7（30）	8.2（55）	7.5（50）	6.6（44）	5.5（37）	5.0（33）	4.4（29）
		2	7.5（63）	6.8（57）	6.0（50）	5.0（42）	4.6（38）	4.0（34）	9.1（60）	8.2（55）	7.2（48）	6.1（40）	5.5（37）	4.9（32）
		3	8.5（71）	7.8（65）	6.8（57）	5.7（48）	5.2（43）	4.6（38）	10.3（68）	9.3（62）	8.2（55）	6.9（46）	6.3（42）	5.5（37）
		4			7.8（65）	6.5（54）	5.9（49）	5.2（43）			9.4（62）	7.9（52）	7.1（48）	6.3（42）
	高	1			8.4（70）	7.1（59）	6.4（54）	5.7（47）			10.2（68）	8.5（57）	7.8（52）	6.8（45）
		2				7.8（65）	7.1（59）	6.2（52）				9.4（63）	8.6（57）	7.5（50）
		3					8.1（67）	7.1（59）					9.7（65）	8.5（57）
		4						8.1（67）						9.7（65）
	密植		11cm	13cm	15cm	17cm	19cm	22cm	11cm	13cm	15cm	17cm	19cm	22cm
	一本爪		22cm	26cm	30cm				22cm	26cm	30cm			

●肥料成分（10-16-12）を使用する場合の、窒素成分施肥量は、標準ペースト（12-12-12）施肥量の（　）内の数値の10%となります。
●施肥量は、各種条件により多少異なることがありますので取扱説明書をよくお読みください。

【T仕様】26530816000

5. 肥料の入れかた

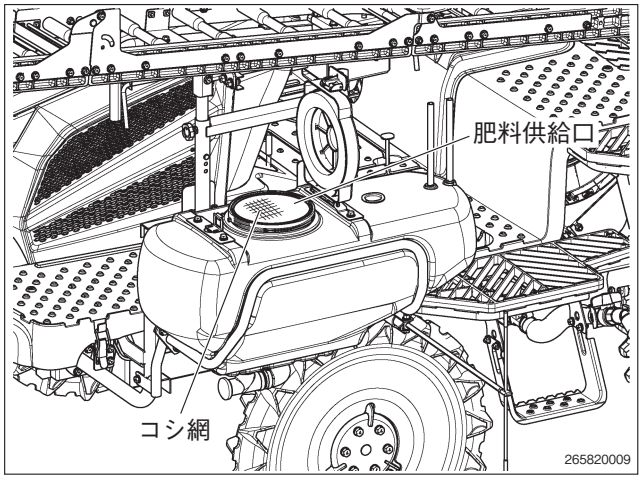
⚠警告 傷害事故防止のために

◆肥料はほ場に入ってから，タンクに入れてください。

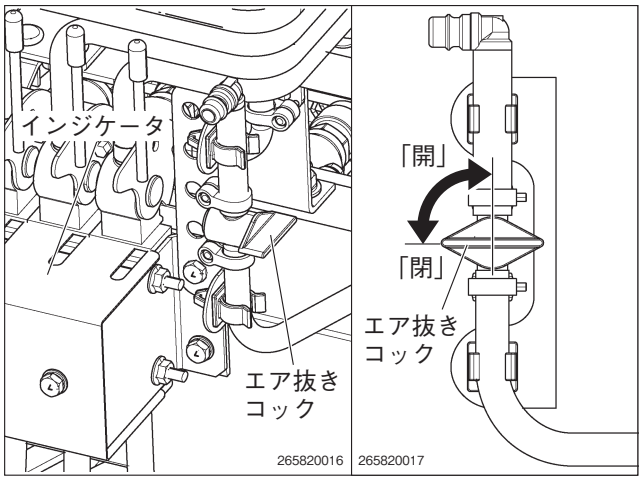
●肥料がタンクに満載状態でほ場に入ると，機械のバランスがくずれて転倒することがあります。

❶ 前方肥料タンクへの肥料供給

ペースト肥料は，田植機前方のタンク肥料供給口よりこぼれないようにゆっくりと供給します。

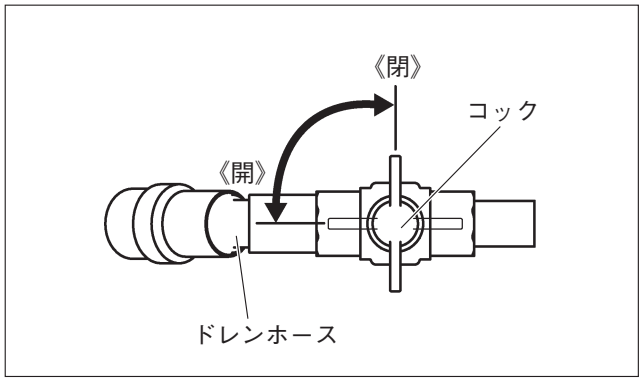


・最初（タンクに肥料がない状態）に肥料を供給するときはインジケータ横のエア抜きコックを「開」側にセットし，供給後は「閉」側に戻します。

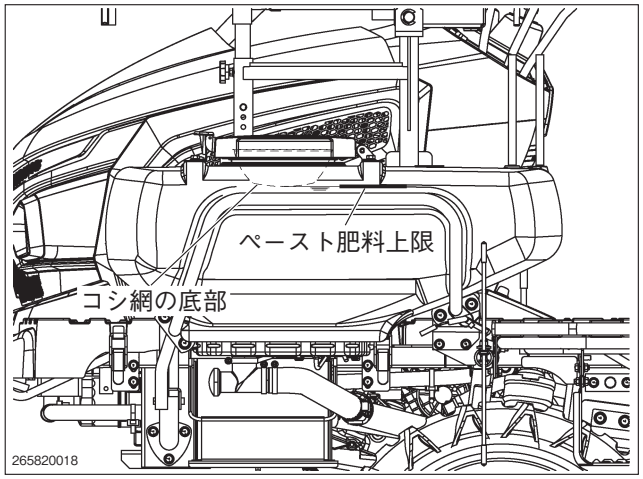


取扱いのポイント

●ペースト肥料を供給するときは，メイン排出用コックが閉じていることを確認してください。



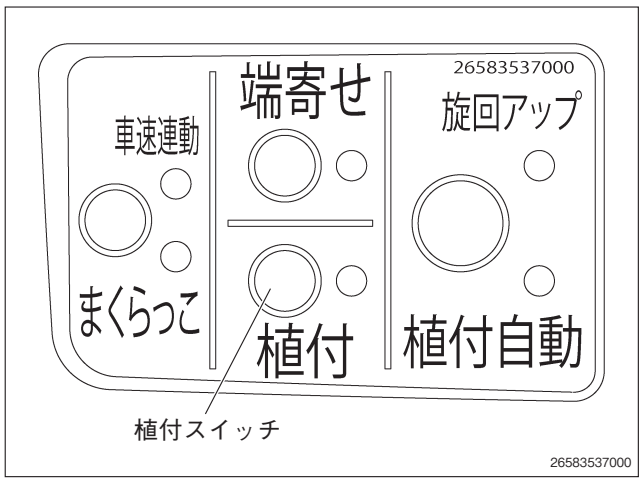
●肥料はコシ網の底部より多く入れないでください。



❷ 後方肥料タンクへの肥料搬送

(1) エンジンを始動します。

(2) 田植機の副変速レバーを《N》(中立)，植付スイッチを《入》(点灯) にします。



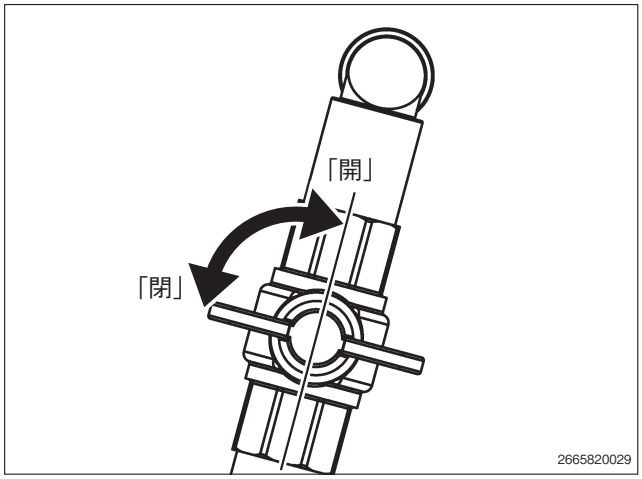
⑶ 田植機の主変速レバーを《**前進**》にして後方肥料タンクへ肥料を搬送します。

⑷ 後方肥料タンクが「**満タン**」もしくは，前方肥料タンクが「**空**」になると肥料搬送が止まります。

⑸ 主変速レバーを《**中立**》にしてエンジンを停止します。

取扱いのポイント

●後方肥料タンクへ肥料を搬送するときは後方タンク排出用コックが閉じていることを確認してください。コックが開いていると後方肥料タンクの肥料が前方肥料タンクに逆流します。



❸ 前方肥料タンクへの肥料補給（２回目）

ペースト肥料を田植機前方のタンク肥料補給口よりこぼれないようにゆっくりと供給します。

取扱いのポイント

●後方肥料タンクに肥料を入れた状態で長時間放置しないでください。後方肥料タンクの肥料が少量ずつ前方肥料タンクに流れて，前方肥料タンクから肥料があふれ出る可能性があります。

❹ ノズル先端からの吐出確認

⚠警告 傷害事故防止のために

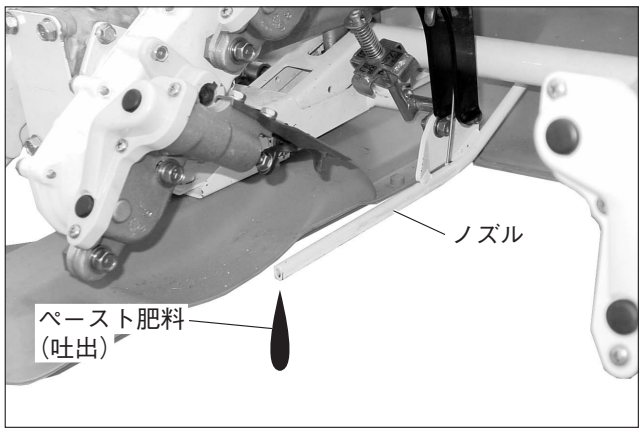
◆吐出確認を行う場合は植付爪に近づかないでください。

⑴ 各切替レバーを「**施肥作業**」位置にします。

⑵ エンジンを始動し，田植機の油圧固定レバーを《**油圧固定**》位置にします。

⑶ 田植機の副変速レバーを《**N**》(**中立**)，植付スイッチを《**入**》位置にします。

⑷ クイックアップレバーを下方向に２回操作もしくは，下げスイッチを２回押し，主変速レバーを《**前進**》にして肥料が各ノズル先端から安定して出ることを確認します。



取扱いのポイント

●吐出確認は，苗のせ台に苗をのせる前に行ってください。吐出確認後に苗のせ台の端合せをしてから苗をのせてください。

●強還元土壌への施肥については，施肥量，施肥位置を「お買いあげ先」にご相談ください。

2. 施肥作業のしかた

1. ペースト施肥機の運転

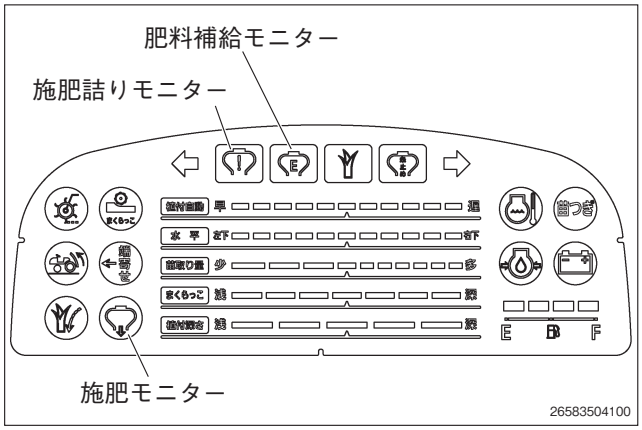
❶ 機械をセット（施肥量調節レバー，ノズル深さ調節レバー，切替レバー）し，エンジンを始動します。

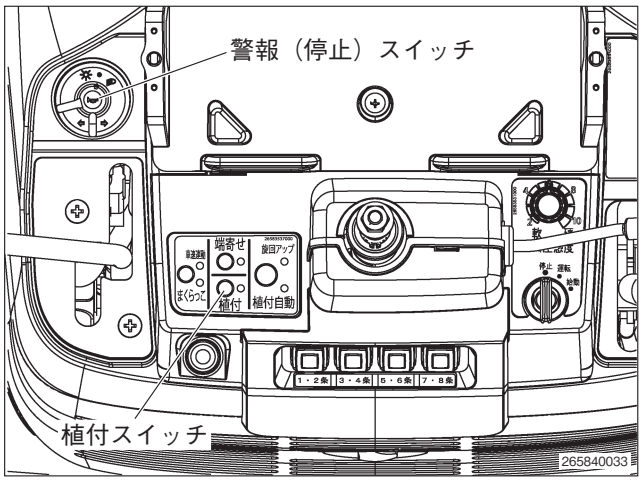
❷ 植付スイッチを「**入**」れます。

❸ 植付作業を開始すると，植付爪に連動して，各ノズルより施肥します。

❹ 作業中は「**施肥モニター**」と「**施肥詰りモニター**」と「**肥料補給モニター**」で施肥作業に異常がないか確認します。

施肥モニターは施肥装置（ポンプ）が駆動しているときに「**点灯**」します。





❺ 植付作業中，後方肥料タンクの肥料を消費したら自動で肥料搬送ポンプのクラッチが入り，前方肥料タンクの肥料を搬送します。

取扱いのポイント

- **肥料補給モニターが点灯したら，速やかに肥料を補給してください。**
- **肥料補給モニター・ブザーの警報を無視して作業を続けると，施肥ポンプにエアが入り，肥料をつぎたしてもそのままでは作業ができません。機械を停止し，エア抜きを行って植付部を上げて運転して，ノズルから肥料が出ることを確認してから再開してください。**
- **警報（停止）スイッチを押せば警報ブザーは，停止しますが，モニターのランプは点灯しています。**
- **肥料詰まり警報は警報（停止）スイッチを押しても停止しません。**
- **フロートが浮き上がると肥料が田面に流出したり，施肥深さが変動し，生育ムラの原因となります。油圧感度切替ダイヤルを《軟》側の位置にして，フロートが田面より浮き上がる状態での施肥作業はしないでください。フロートが田面より浮き上がる場合は浮き上がらないようダイヤルで調整してください。**
- **休憩またはほ場移動など長時間作業中断後は肥料がノズルから出る事を確認してから作業をしてください。**
- **ペースト肥料を入れずに田植作業をするときは，施肥機の施肥量調節レバーの副変速レバーを《N》(中立）の位置にし施肥ポンプが回転しないようにして田植作業を行ってください。**
- **植付作業中，バックする場合は植付部が上昇したことを確認してから行ってください。**
  ノズルに泥が詰まり変形したりすることがあります。
- **田面以外に植付部を降ろすとき，およびエプロンガードをスタンドとして植付部を降ろすときは，ノズルを格納状態にしてください。ノズルが変形することがあります。**

●「ペーストポンプ空運転厳禁」

⑴後方肥料タンクの中に肥料や水が入っていないときは施肥ポンプを回さないでください。施肥ポンプが焼き付くことがあります。

⑵ペースト肥料を入れずに田植作業をするときは施肥機の施肥量調節レバーの副変速レバーを《N》(中立) 位置にしてください。

2. 条止めのしかた

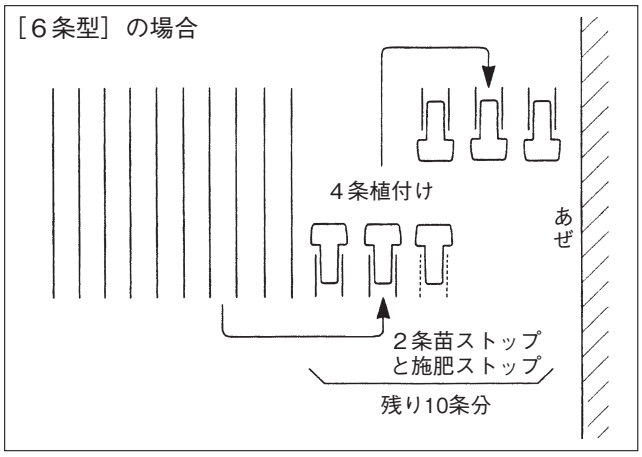
田植機では最終行程まで植付けるため，その前行程で「**条止め**」して調整します。

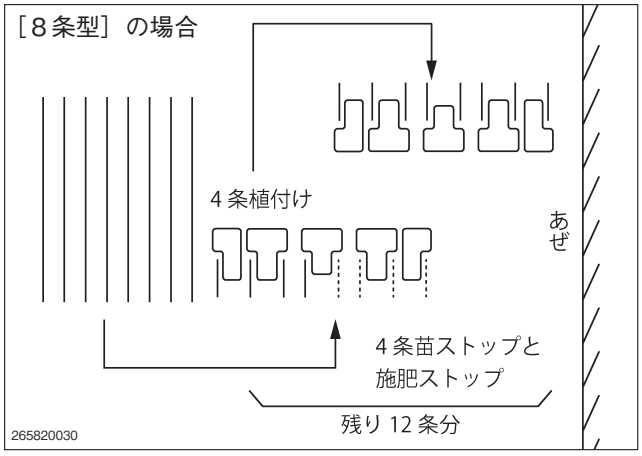
条止めスイッチを一つ《**入**》(**点灯**) すると，2条の植付爪と施肥が連動して停止します。

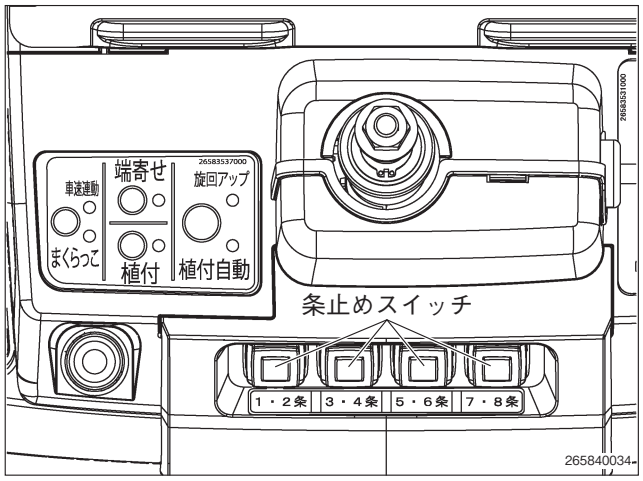
植付クラッチを《**入**》にして作業後に植付部を上昇させると条止めスイッチが《**切**》(**消灯**) になり，植付爪と施肥が連動して動く状態になります。

条止めスイッチの取扱いは田植機の説明書を参照ください。

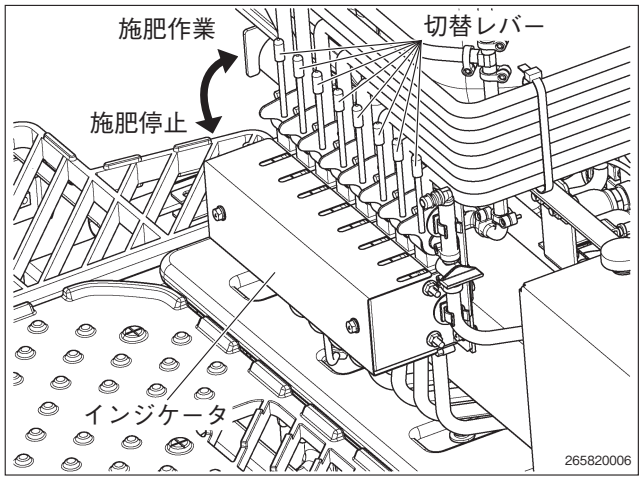
(調整例)







施肥のみ条止めしたい場合はインジケータの切替レバーを《**施肥停止**》位置にします。



取扱いのポイント

●条止めスイッチを操作し，スイッチが「点滅」している間は条止めをしようと動作している状態です。条止めスイッチを操作するときは，走行を一旦停止した後，植付爪が停止状態または，低速回転状態で行ってください。

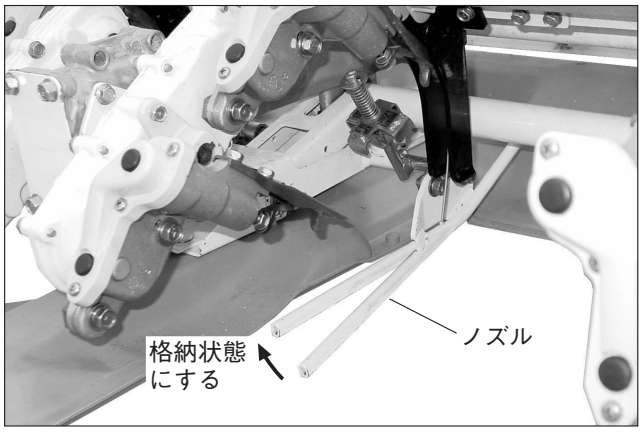
●条止めスイッチを《入》(点灯) または，切替レバーを《施肥停止》位置にすると施肥条止めモニターが点灯します。

●切替レバー《施肥停止》位置にして条止め作業をしたときには作業終了後，切替レバーを速やかに《施肥作業》位置に戻してください。

●切替レバーを戻さないで，昇降操作すると警報が鳴ります。

3．移動走行

・タンクにペースト肥料を入れたままでの高速移動は行わないでください。
・移動する場合は植付装置を上げ，ノズルが路面などに当たらないようにしてください。
・ほ場への出入りやあぜ越えをするときは，ノズルを引っかけないようにしてください。
・自動車で運搬するときは，タンクのペースト肥料を抜きノズルを格納状態にしてから，田植機の自動車への積込み方法に従って行ってください。

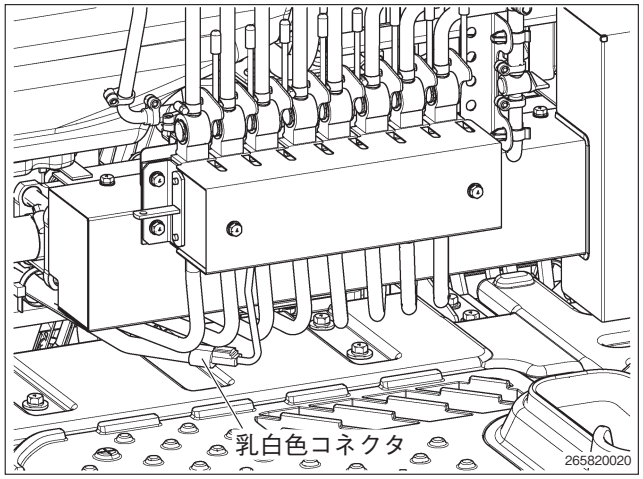


4．施肥詰まり確認のしかた

・肥料が詰まったとき，どの条が詰まったかを下記要領で確認することができます。

❶ エンジンを停止します。

❷ インジケータ下部の乳白色コネクタ（３極）を外します。



❸ 副変速レバーを《**N**》(**中立**）にしてエンジンを始動します。

❹ 安全のため，植付部を最上昇位置にして油圧固定レバーを《**油圧固定**》にします。

❺ クイックアップレバーもしくは，スマイルシフト下げ・植付スイッチを操作して植付クラッチを「**入**」にして主変速レバーを前進側に増速します。

❻ ペースト肥料を吐出させ，詰まった条を確認します。（プランタアームが回転しますので十分注意してください。）

手入れのしかた

1．掃除のしかた

1．作業後の掃除

⚠警告 傷害事故防止のために

◆点検・整備・掃除するときは平坦な場所に機械を置いて，駐車ブレーキをかけエンジンを停止して各部の回転が止まってから行ってください。

◆屋内でのエンジン始動は窓や戸を開けて換気をしてください。

⚠注意 傷害事故防止のために

◆植付部を上げて行うときは油圧を固定にし，植付部が降りないことを確認し，植付部の下に固定脚を置いてください。

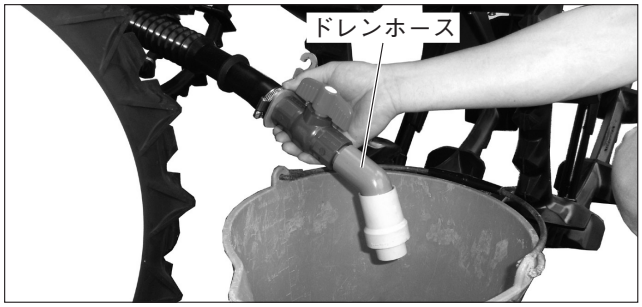
◆取外したカバー類は全て取付けてからエンジンを始動してください。

・本機に付着した肥料や泥はきれいに洗い流します。

・３日以上作業しないときは，施肥機内の肥料を全て抜き取り，内部を水洗いします。

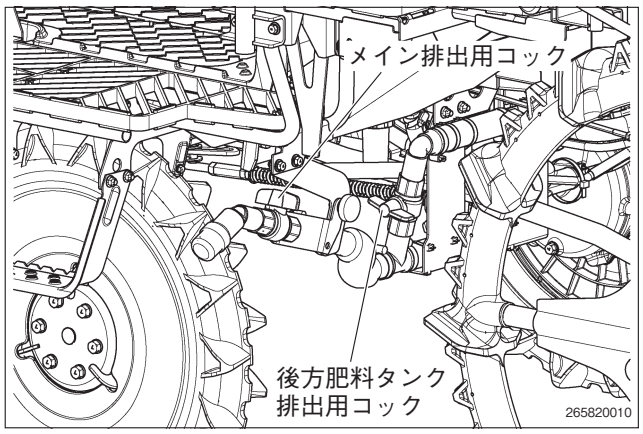
❶ 肥料の排出

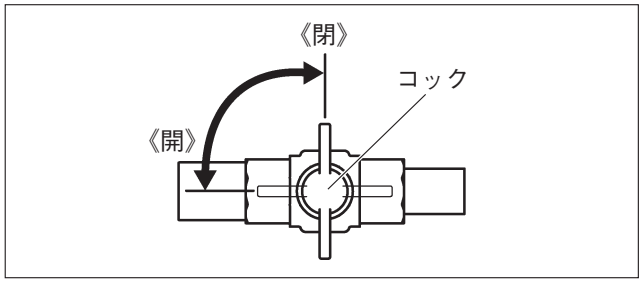
⑴ ノブをゆるめてドレンホースのフック部より外し，キャップを取外してホース先端をバケツなどに入れます。（外しかたは10ページ参照）
三菱指定のペースト肥料の場合，ドレンホースの先端を肥料袋の口に差込み肥料を直接袋に戻すこともできます。直接袋に戻す場合は，肥料袋の中の空気を抜きドレンホースの先端を肥料袋に差込みます。



⑵ メイン排出用コックを開き，前方肥料タンクの肥料を排出します。

⑶ 後方肥料タンク排出用コックを開き，後方肥料タンクの肥料を排出します。





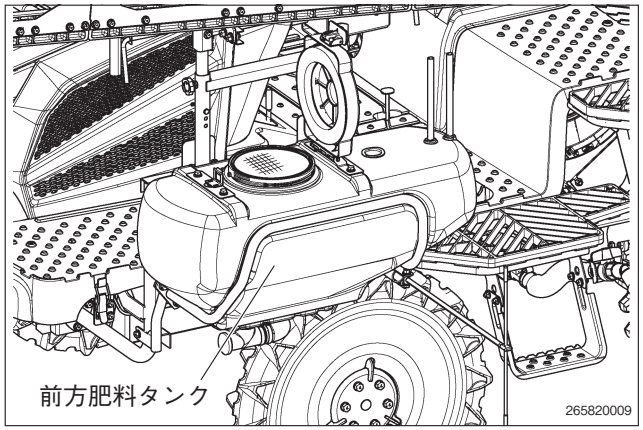
⑷ メイン排出用コック，後方肥料タンク排出用コックを閉めます。

取扱いのポイント

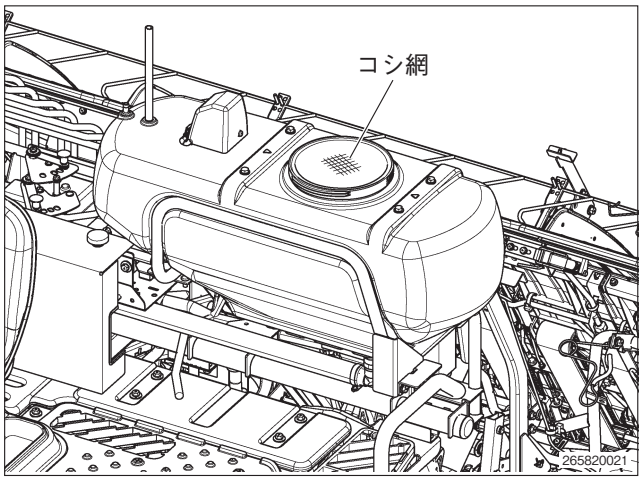
●容器がいっぱいになる前に都度コックを閉じて容器を替えてください。

❷ タンクの洗浄

⑴ 前方肥料タンクを洗いながらタンクに水を入れます。



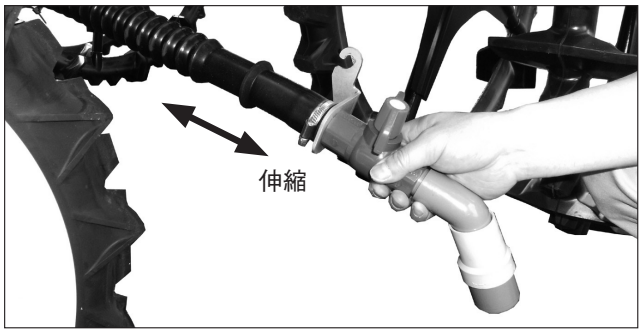
⑵ 後方肥料タンクを洗いながらタンクに水を入れます。(前方肥料タンクのコシ網を使用します)



❸ パイプ，ドレンホースの洗浄

⑴ ドレンホースを数回伸縮させて，パイプ内の水を動かしパイプとホースを洗浄します。

⑵ メイン排出用コックを開き，前方肥料タンクの水を排出します。(水を抜いた後，コックを閉めて再びタンクに水を溜めドレンホースを伸縮させる作業を２～３回くりかえします。)



⑶ 後方肥料タンク排出用コックを開き，後方肥料タンクの水を排出します。

⑷ メイン排出用コック，後方肥料タンク排出用コックを閉めます。

❹ 肥料搬送ポンプの洗浄

⑴ きれいな水を前方肥料タンクに入れ，肥料搬送ポンプを運転させてポンプ内を洗浄します。(肥料搬送ポンプの運転は16ページ参照)

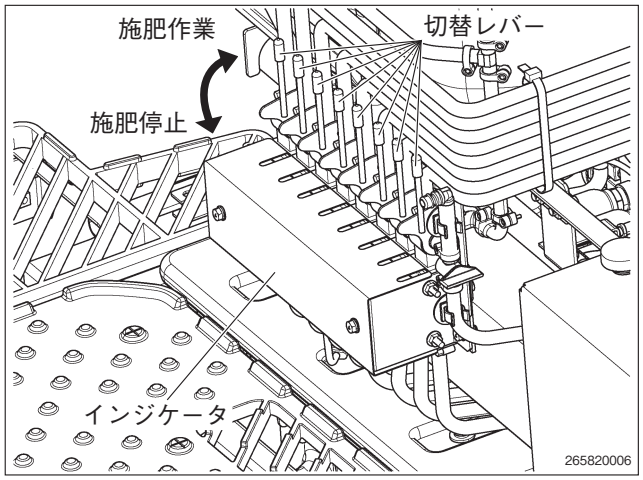
⑵ メイン排出用コック，後方肥料タンク排出用コックを開いて，水を排出します。(水を抜いた後，コックを閉めて再びタンクに水を溜め肥料搬送ポンプの運転を２～３回くりかえします。)

⑶ メイン排出用コック，後方肥料タンク排出用コックを閉めます。

❺ 施肥ポンプ～ノズル，戻しパイプの洗浄

⑴ きれいな水を後方肥料タンクに入れ，施肥ポンプを運転させてポンプ～ノズルに水を流し，ノズルから透明な水が出るまで洗浄します。(施肥ポンプの運転は17ページ参照)

⑵ 切替レバーを《**施肥停止**》位置にして戻しパイプを洗浄します。



⑶ 切替レバーを《**施肥作業**》位置に戻します。

⑷ メイン排出用コック，後方肥料タンク排出用コックを開いて，水を排出します。

2．シーズン後の掃除

⚠警告 傷害事故防止のために

◆点検・整備・掃除するときは平坦な場所に機械を置いて，駐車ブレーキをかけエンジンを停止して各部の回転が止まってから行ってください。
◆屋内でのエンジン始動は窓や戸を開けて換気をしてください。

⚠注意 傷害事故防止のために

◆植付部を上げて行うときは油圧を固定にし，植付部が降りないことを確認し，植付部の下に固定脚を置いてください。
◆取外したカバー類は全て取付けてからエンジンを始動してください。

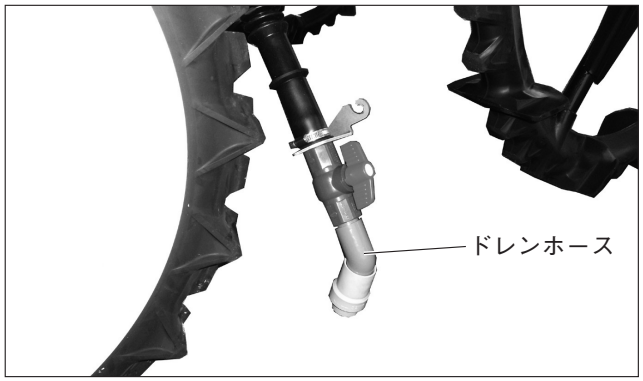
・シーズンが終わったらすぐに水洗いし，ペースト肥料・泥などを完全に洗い流します。ペースト肥料が付着したまま長期格納すると，機械が錆るおそれがあります。
・施肥機内のペースト肥料を完全に抜き，内部を水洗いします。（掃除のしかたは作業後の掃除を参照）

取扱いのポイント

●洗浄作業は，施肥機内部を通した水が無色透明になるまで水洗いしてください。

2．格納のしかた

❶ ペースト施肥機のドレンホースは洗い水が抜けるようにコックを開けて下に吊下げておきます。（ドレンホースのキャップは取外して保管します。）



取扱いのポイント

●田面以外に植付部を降ろすとき，およびエプロンガードをスタンドとして植付部を降ろすときは，ノズルを格納状態にしてください。ノズルが変形することがあります。

3. 点検

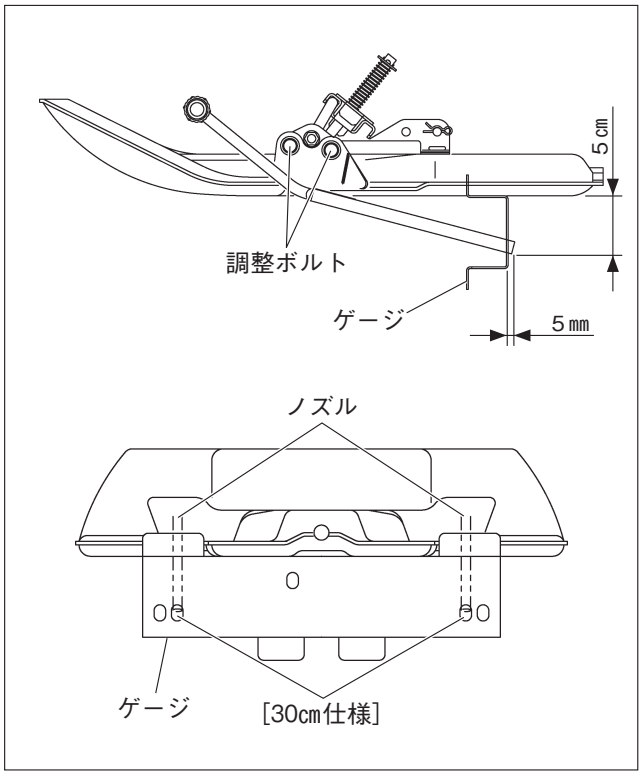
1. ノズル深さの点検

ノズル深さ位置は成育に影響しますので，シーズン前に点検します。

❶ ６条型サイド・センタフロート

・ゲージをフロート後方よりセットして，ノズル深さは５㎝を基準とし，ゲージ穴に入れ点検します。

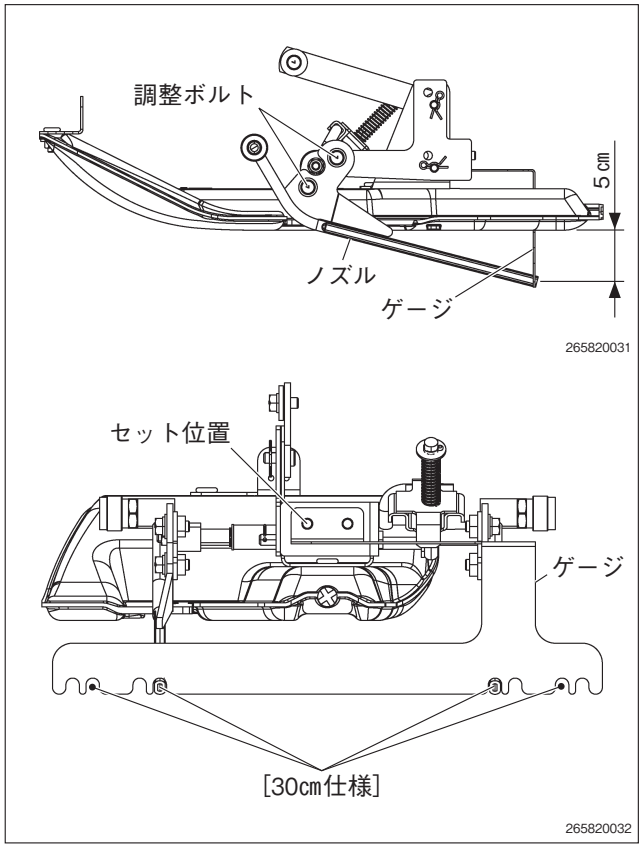
・ゲージ穴に入らない場合は，調整ボルトをゆるめて再調整します。



❷ ８条型サイド・センターフロート

・ゲージをフロート後方よりセットして，ゲージが傾かないように手で押さえるか，Ｍ８ナットで固定します。ノズル深さは５㎝を基準とし，ゲージ穴に入れ点検します。

・ゲージ穴に入らない場合は，調整ボルトをゆるめて再調整します。



不調時の処置

・不調が発生したら，すぐにその原因を調べて処置をし，故障を大きくしないようにします。
・原因がわからない場合や，調整しても再発するときは「**お買いあげ先**」に相談し，点検を受けてください。
・そのときは不調の状況とあわせて「**田植機型式番号**」をお知らせください。

⚠警告 傷害事故防止のために

◆点検・調整はエンジンを停止してから行ってください。
◆施肥詰りモニターが作動したときは，パイプ内が高圧になっていますので，切替レバーを「施肥停止」，「施肥作業」位置に何度か動かしてパイプ内の圧力を下げてから，パイプ・ノズル内の掃除をします。体をノズル出口側から離して作業を行ってください。また，ノズル側のパイプを外すときは，切替レバーを「施肥停止」，「施肥作業」位置に何度か動かしてパイプ内の圧力を下げてください。

	不調の状況	原　　因（点検箇所）	処　　置	参照ページ
施肥詰りモニター	❶ノズルより肥料が出ない。(詰りモニターが点灯し，警報ブザーが鳴る)	・インジケータからノズルまでのパイプに折れや詰まりがある。	・パイプの折れを修正する。	―
			・パイプのカプラーを外してパイプとノズルを掃除する。	22
	❷ノズルより肥料が出ているが，ときどきランプが点灯し，ブザーが鳴る。	・ポンプからノズルまでのパイプ内に異物などがあり，一部が狭くなっている。	・パイプのカプラーを外してパイプとノズルを掃除する。	22
肥料残量モニター	❸タンク内の肥料がなくなっても，警報しない。	・植付スイッチが入っていない。	・植付スイッチを「**入**」れる。	6
		・タンク内の肥料残量センサの作動不良。	・肥料残量センサのフロート作動部を掃除する。	9
	❹タンク内に肥料を入れても，ランプが「**点灯**」し，ブザーが鳴っている。	・タンク内の肥料残量センサの作動不良。	・肥料残量センサのフロート作動部を掃除する。	9
施肥モニター	❺施肥作業中「**点灯**」しない。	・施肥量調節レバーが調節位置に入っていない。 ・センサ作動不良 ・駆動チェンの切損，外れ	・施肥量調節レバーを調節位置に入れます。 ・「**お買いあげ先**」にご相談ください。 ・チェンの外れを修正する。チェンを交換する。	―

不調時の処置

	不調の状況	原　　因（点検箇所）	処　　置	参照ページ
施肥搬送ポンプ	❻ポンプが回らない。	・植付スイッチが入っていない。	・植付スイッチを「**入**」れる。	6
		・タンク内の肥料残量センサの作動不良。	・肥料残量センサのフロート作動部を掃除する。	9
		・駆動チェンの折損，外れ。	・チェンの外れを修正する。 ・チェンを交換する。 ・ポンプの詰まりを確認する。	ー
		・駆動シャフトピンの折損。	・ピンを交換する。 ・チェンのかかりを確認する。 ・ポンプの詰まりを確認する。	ー
		・ポンプ内にペーストの固まりまたは異物があり，ポンプが回らなくなっている。	・ポンプ内のペーストまたは異物を取除く。	10
	❼ポンプが止まらない。	・後方タンク内の肥料残量センサの作動不良。	・肥料残量センサのフロート作動部を掃除する。	9
	❽肥料を送らない。	・ポンプのインペラーが摩耗または破損している。 ・ホース内，吸込口，吐出口にペーストの固まりまたは異物がある。	・ポンプ，またはインペラーの交換。「**お買いあげ先**」にご相談ください。 ・ホース内，吸込口，吐出口のペーストまたは異物を取除く。	10
	❾騒音が激しい。	・ポンプ内に異物がある。	・ポンプ内の異物を取除く。	ー
	❿インペラーが損傷する。	・肥料を入れたまま長期間放置をした。	・ポンプ，またはインペラーの交換。「**お買いあげ先**」にご相談ください。	ー

付　　表

1．主要諸元

区　　分		乗用田植機用ペースト施肥機	
型　　式　　名		PST－PS6	PST－PS8
適　用　田　植　機		6条型	8条型
施　肥　方　法		土中側条施肥	
施　肥　位　置（㎜）		苗側方20，深さ30，50，70	
ポ　ン　プ	形　　式	CCポンプ	
	動　力　源	植付PTO軸	
	駆 動 方 式	チェン駆動	
	変 速 方 式	レバー式（2本）	
	変 速 段 数（段）	12	
肥料タンク	材　　質	ポリエチレン	
	容　　量（L）	180L（50L×2＋40L×2）	
	残量モニター	ランプ表示式	
インジケータ	方　　式	電気式（圧力感知式）	
	表 示 位 置	運転席パネル	
ノ　ズ　ル	材　　質	ステンレスパイプ	
	内　　径（㎜）	3×7（楕円形）	
	調 節 方 法（段）	レバーワンタッチ式（4段　内1段格納用）	
パイピング	材　　質	ナイロン	
クラッチ	方　　式	植付クラッチ連動	
肥　　料	種　　類	ペースト肥料	
	成　　分	複合12－12－12，15－10－12，10－16－12	

・この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

お客様へ

ご使用の機械についてわからないことや故障が生じたときは，下記の点を明確にして，お買いあげ先へお問合わせください。

●ご使用機の型式名と機械番号（製造番号）は…？

型 式 名

機械番号（製造番号）

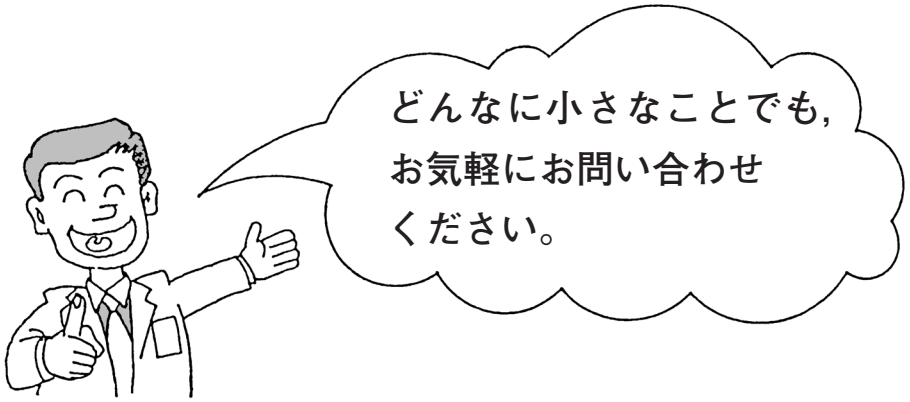
●ご使用状況は…？

（どんな作業のとき）

●どのくらい使用されましたか？

（約 _____ アール使用後）

●トラブルが発生したときの状況を，できるだけ詳しくお教えください。



（ご相談窓口）お買いあげ先

ＴＥＬ　　（　　）

No.032603-26530858002